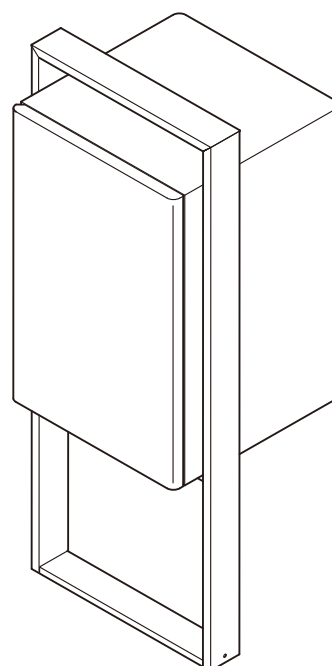
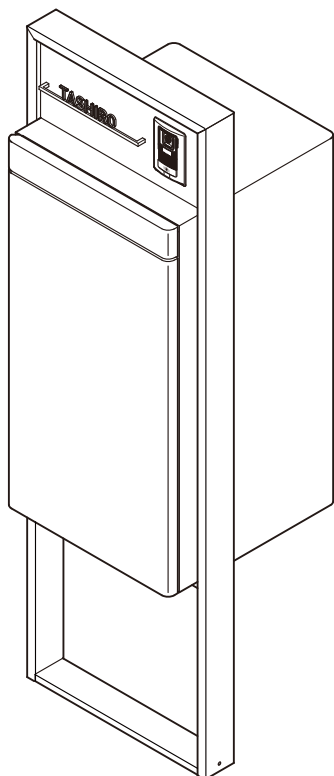


スマート宅配ポスト TA・TB

ファンクション仕様
ポール建て仕様

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

- 警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明

- お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- 補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

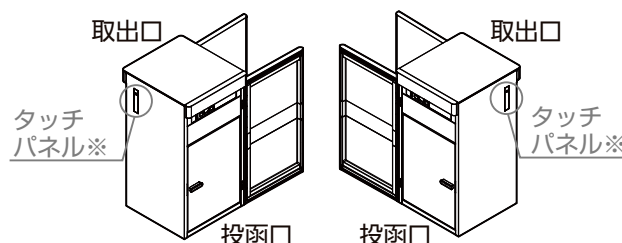
■ 施工の前に

⚠ 注意

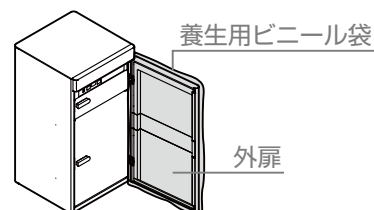
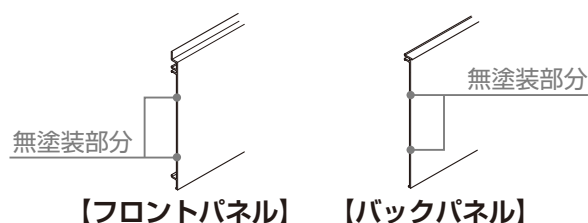
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

💡 お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 後ろ取出し仕様の場合、タッチパネルを操作するスペースが確保可能か、設置位置をご確認ください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 塗装色のセンターブロックは製造上、フロントパネル、バックパネルの端部に塗装が施されていない部分がありますが、性能上問題はありません。
- 電装ボックス(スマート宅配ポスト TA・TBともに)の外扉には養生用のビニール袋が取付いています。
キズ防止のため、施工完了まで外さないでください。
- スマート宅配ポストの設定については、「スマート宅配ポスト 取扱説明書(UA229)」を参照してください。



【後取り出し】(TAのみ)



■ 施工上のご注意

⚠ 注意

- 納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるようにしてください。
- ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガの原因になります。
※φ3ネジ : 1.0N・m±0.2N・m (10±2kgf・cm)
※φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
※φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 柱の水抜き穴をふさがないでください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

💡 お願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- フロントパネル、バックパネル、中木の穴あけ加工を行なう場合は、金具用の工具を使用してください。
- 電装ボックスにキズが付かないよう養生などをし施工を行ってください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

基礎工事について

注意

- 基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

お願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

電気配線工事について

警告

- AC100Vの電線の配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- LED照明(サインライト・フットライト・バックライト)は、DC12V以外では使用しないでください。
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- ※トランス電源ユニットが電装ボックス(スマート宅配ポストTA・TB)に内蔵されています。

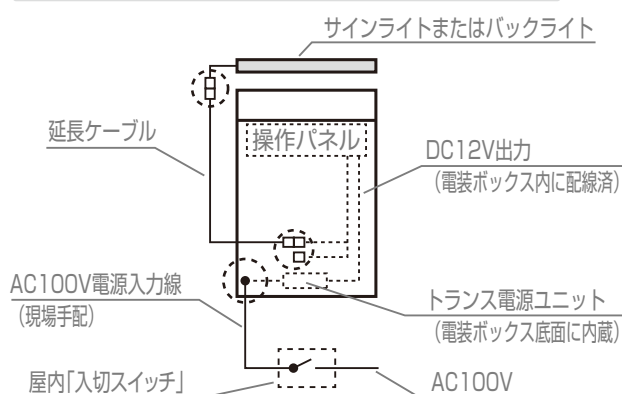
施工の後に

お願い

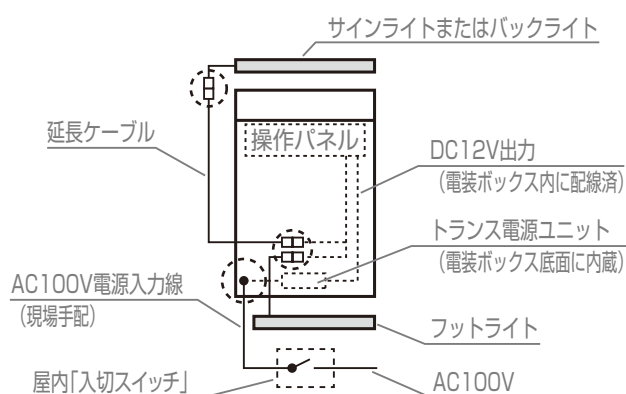
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

照明 配線システム図

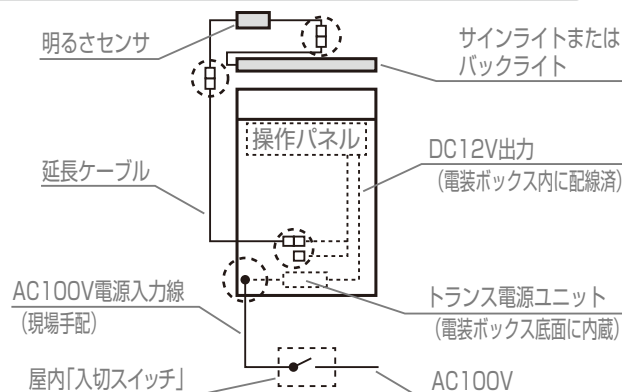
▼ ホームネットワークシステムと接続してサインライト、またはバックライトのみ使用する場合 ▼



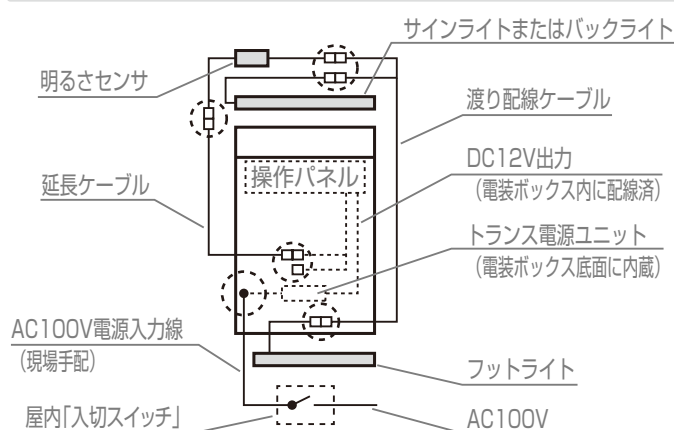
▼ ホームネットワークシステムと接続してフットライトを使用する場合 ▼



▼ ホームネットワークシステムと接続しないでサインライト、またはバックライトのみ使用する場合 ▼

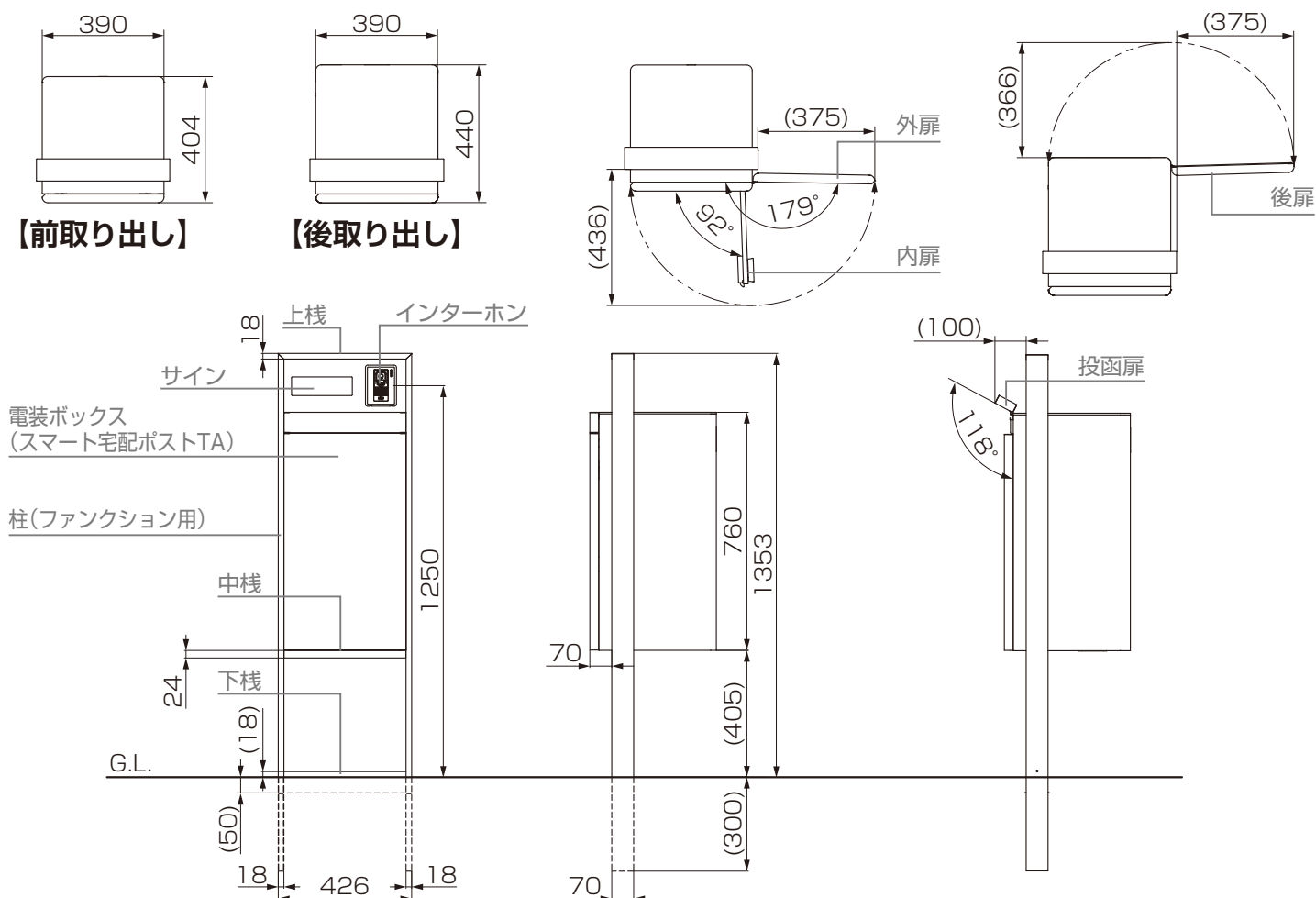


▼ ホームネットワークシステムと接続しないでフットライトを使用する場合 ▼

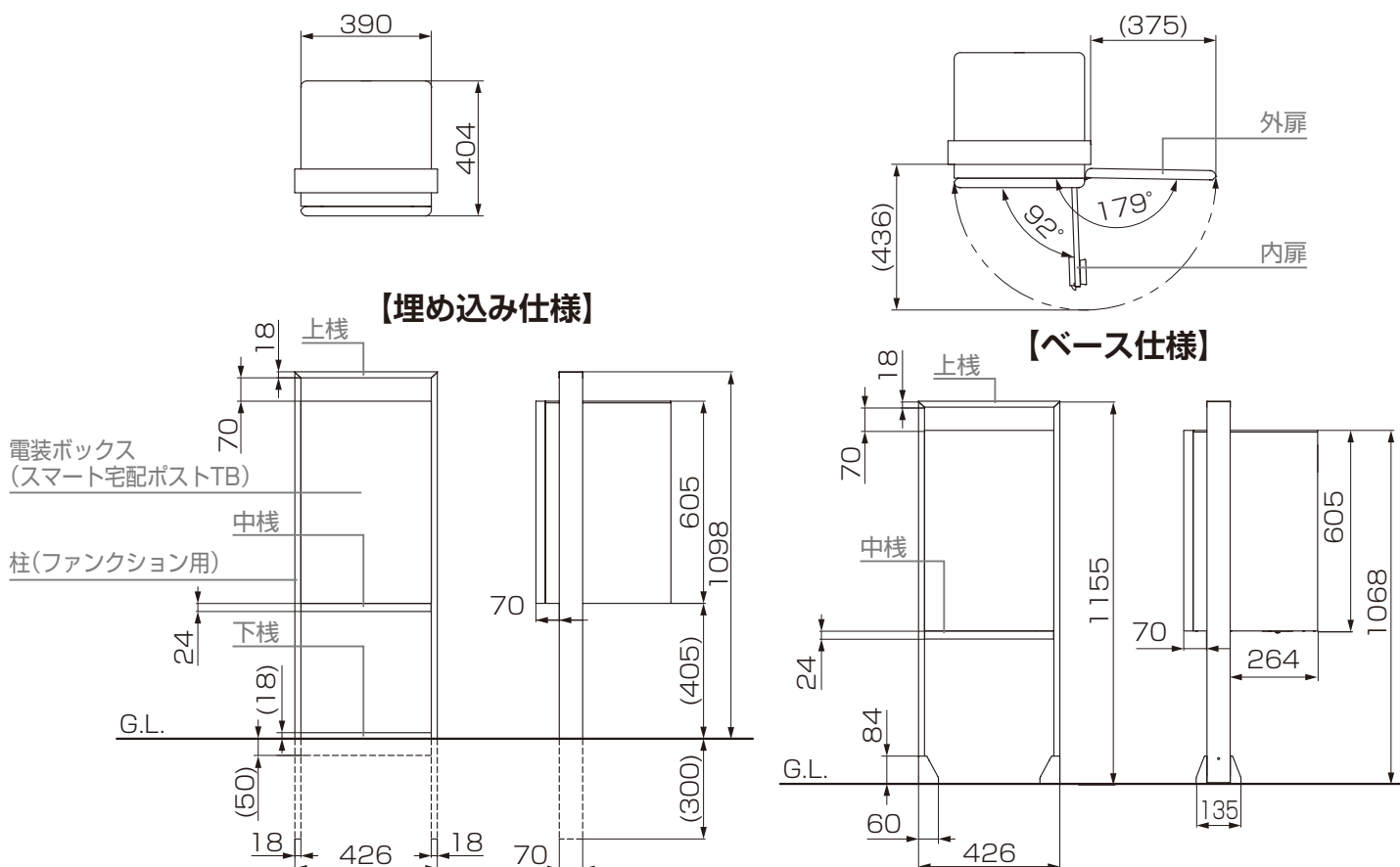


1 基本寸法と各部名称

1-1 ファンクション仕様



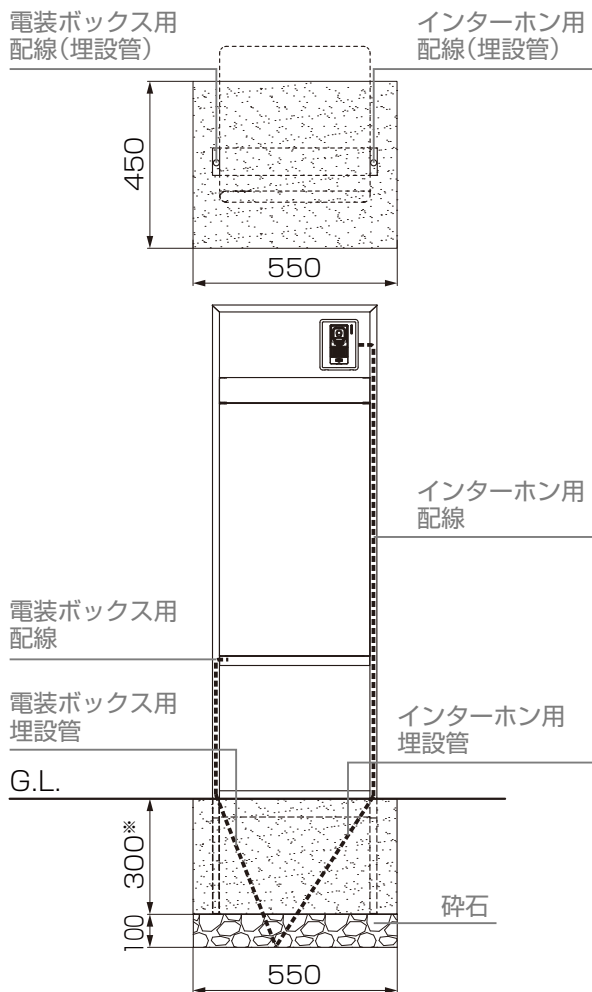
1-2 ポール建て仕様



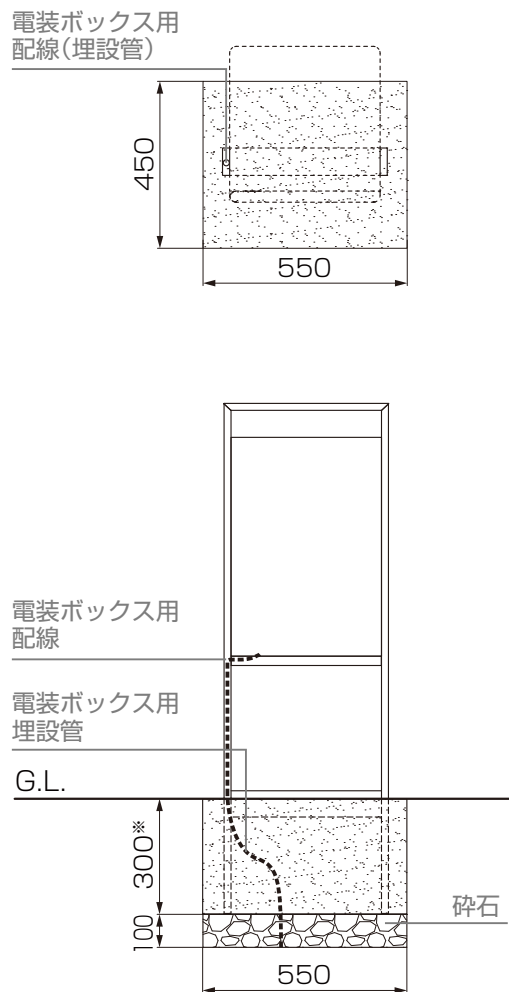
2 基礎寸法と配線工事

2-1 基礎寸法

▼ ファンクション仕様 ▼



▼ ポール建て仕様 ▼



補 足

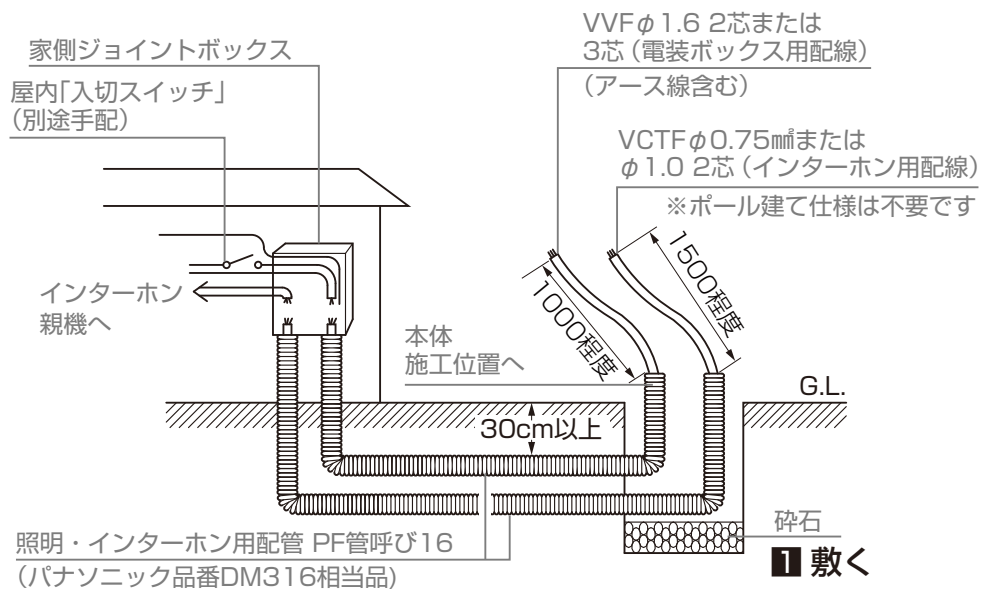
●土間勾配が付いている場合、埋め込み深さ(※印寸法)は260まで小さくできます。(埋め込みを40浅くすることが可能)

2-2 配線工事

- 1: 基礎穴を掘り、砕石を敷く
- 2: 電装ボックスおよびインターホン用の配線を配管

お願い

- 本商品に使用する電装ボックスはAC100Vの電源が必要になります。
- アース(D種接地工事)をとってください。
- 電装ボックス用配線、インターホン用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設置してください。照明交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- EEスイッチ等の自動点滅器は使用しないでください。使用すると正常に作動しない場合があります。
- PF管のファンクション側の端部は、パテ埋めなどでの処理を施してください。



2 配管

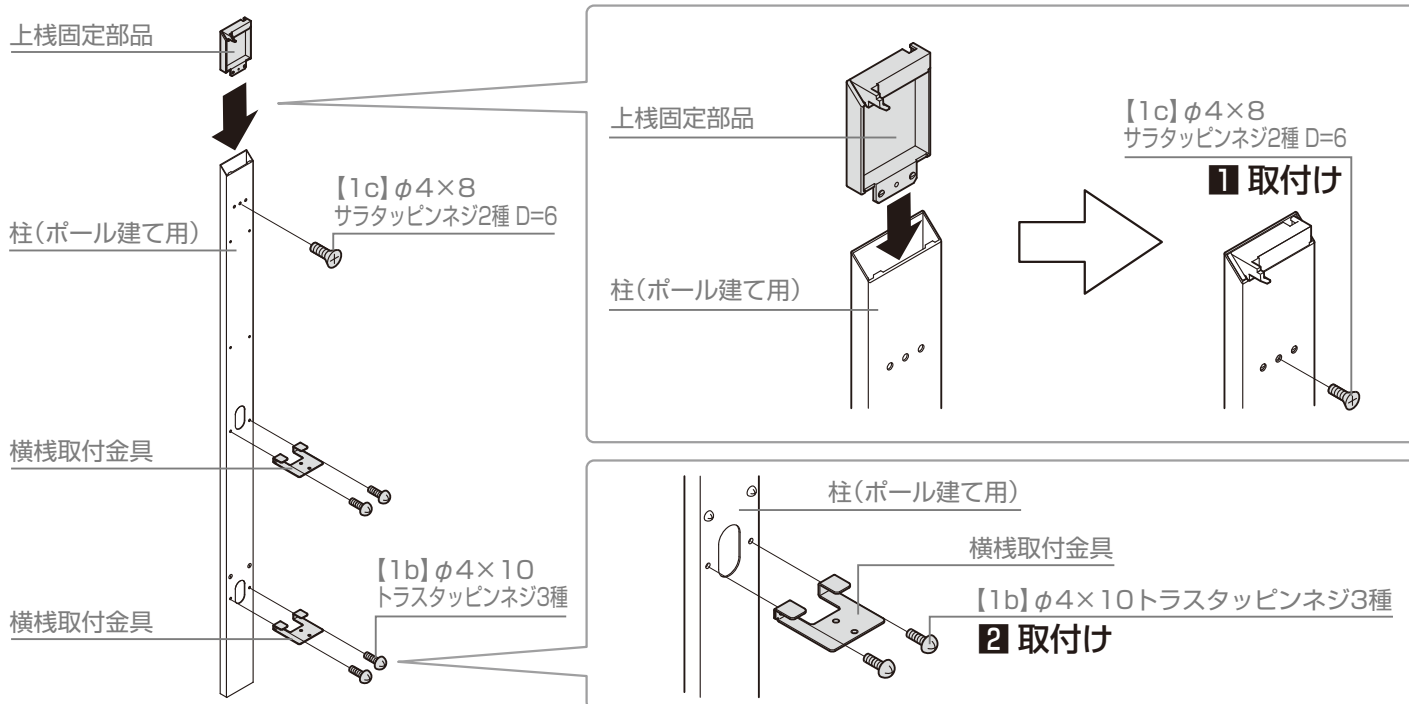
3 本体の組立て（ポール建て仕様）

補足

●ファンクション仕様の組立てはP12 6 本体の組立て（ファンクション仕様）からとなります。

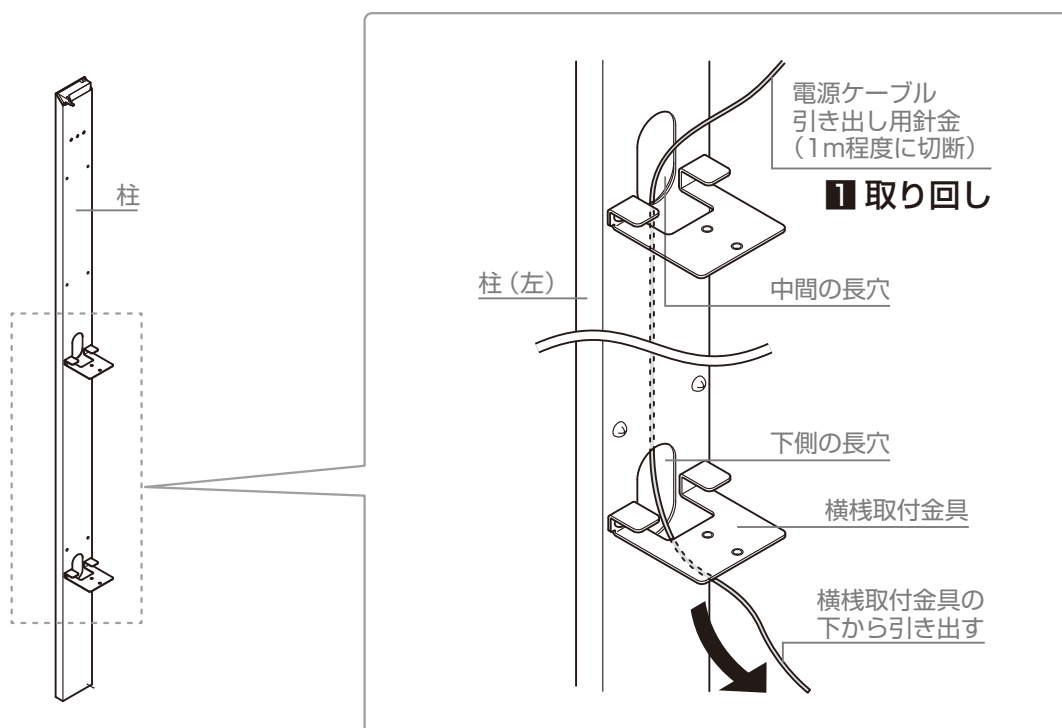
3-1 柱

- 1: 上栈固定部品を柱（ポール建て用）に【1c】で取付け
- 2: 横栈取付金具を柱（ポール建て用）に【1b】で取付け



3-2 配線引き出し用針金

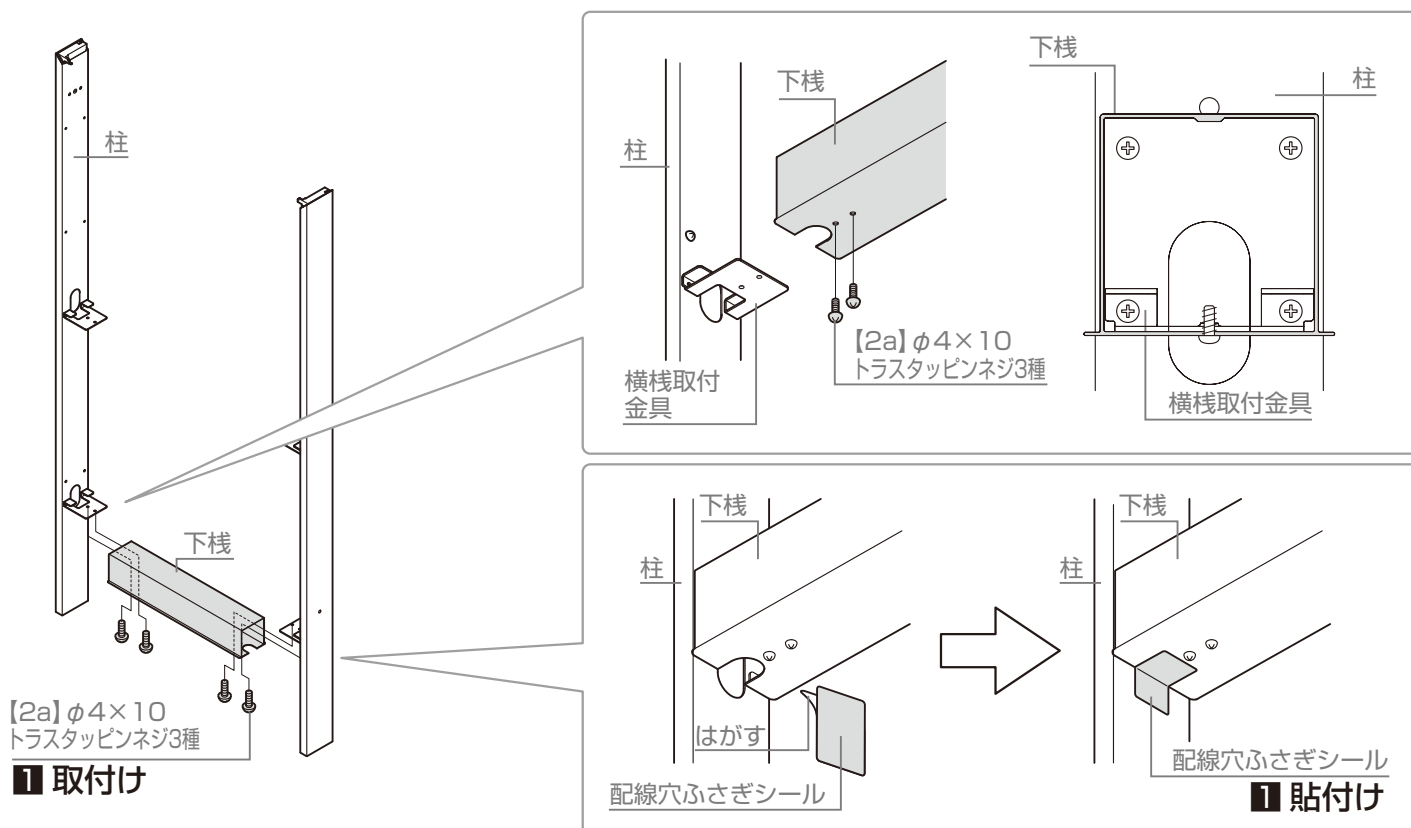
- 1: 電源ケーブル引き出し用針金を取り回し



3 本体の組立て（ポール建て仕様）

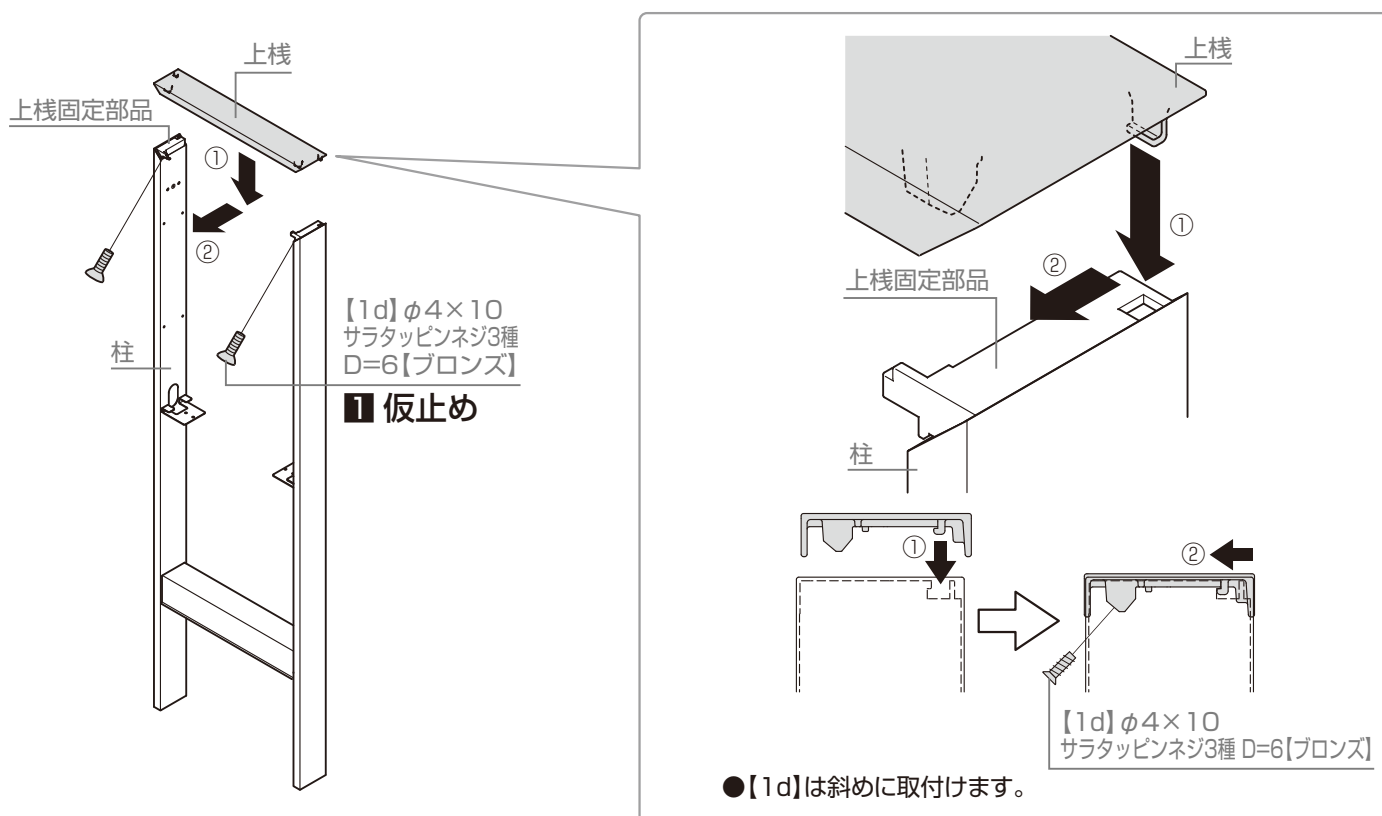
3-3 下棧の取付、配線穴ふさぎシール

- ❶: 下棧を柱に【2a】で取付け
- ❷: 配線穴ふさぎシールを下棧の配線穴に貼付け



3-4 上棧の取付

- ❶: 上棧を上棧固定部品に【1d】で仮止め

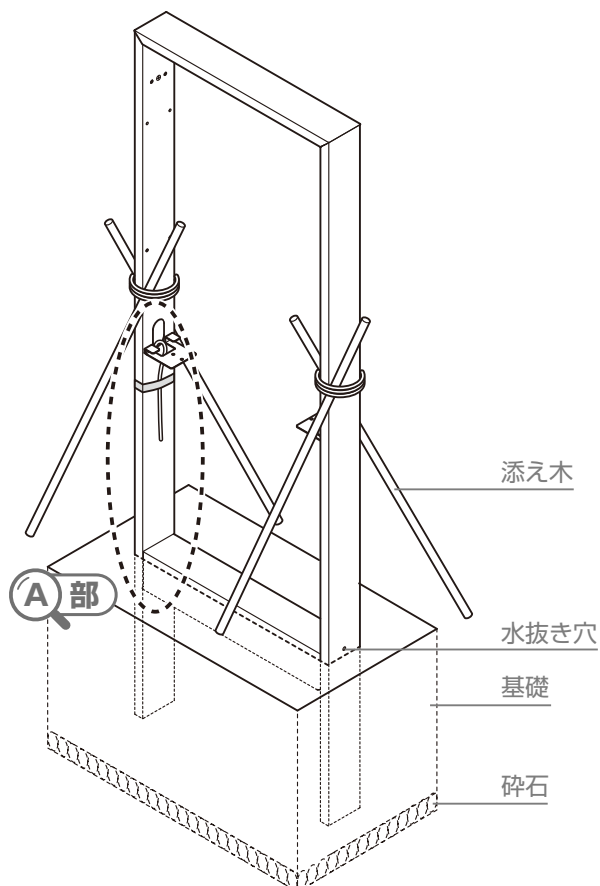


4 本体の建て込みと電装ボックスの取付準備（ポール建て仕様）

4-1 電源ケーブルの引き出し

❶: 電源ケーブルに、取り回した針金を巻きつけ

❷: 針金を引き上げて宅配ポスト電源ケーブルを柱内に取り回し



A 部詳細図

柱 ❷ 取り回し

横棧取付金具

針金

下棧

❷ 取り回し

電源ケーブル

❶ 巻きつけ

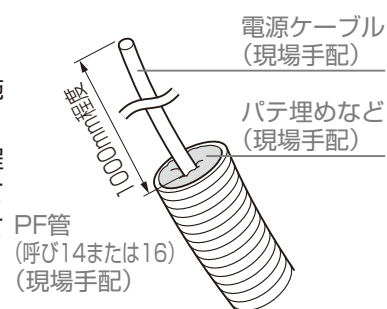
PF管
(呼び14または16)
(現場手配)

針金

電源ケーブル

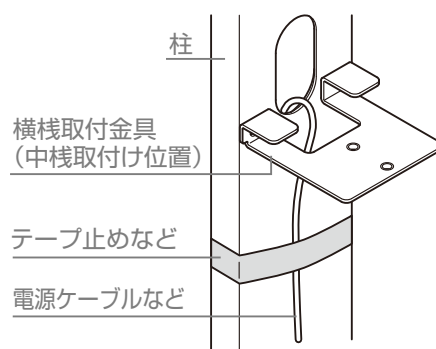
お願い

- 電源ケーブルはPF管より1000mm程度長くして、パテ埋めなどの処理を施してください。
- PF管は10～20mm程度下棧の穴に吞込ませて抜け落ちないようにしてください。



お願い

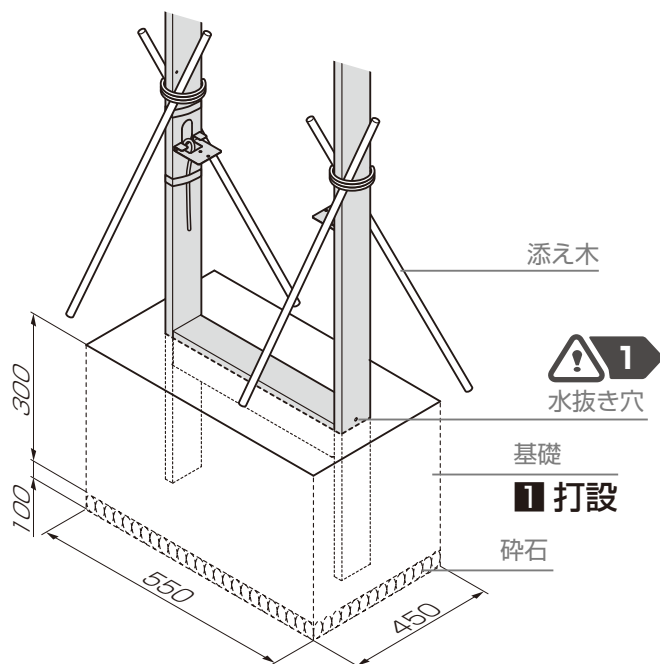
- 配線を引出し後、各配線は柱の中に引込まれないようテープ等で固定してください。中棧取付け位置の配線は電装ボックス内へ引込みやすいように、横棧取付金具の穴を通して下側へ取回してください。



4 本体の建て込みと電装ボックスの取付準備（ポール建て仕様）

4-2 柱の埋め込み

1: 基礎コンクリートを打設

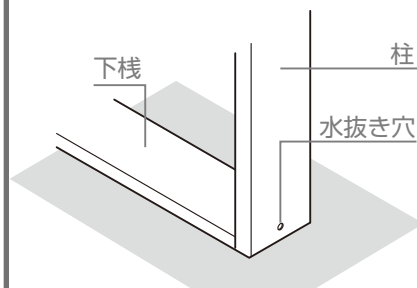


お願い

- 柱の垂直を確認してください。
- コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。

注意 1

- 水抜き穴をふさがないようにしてください。



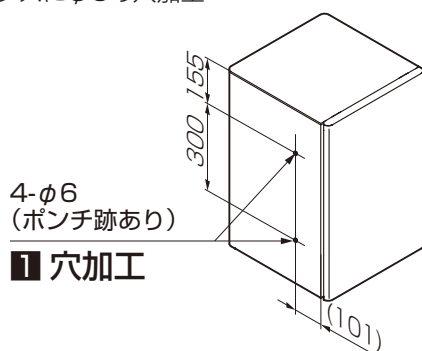
4-3 上桟の取外し

お願い

- 3-4 上桟の取付 を参照して一度上桟を外してください。

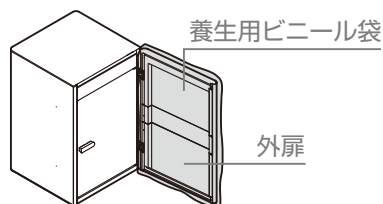
4-4 孔加工

1: 電装ボックスにφ6の穴加工



お願い

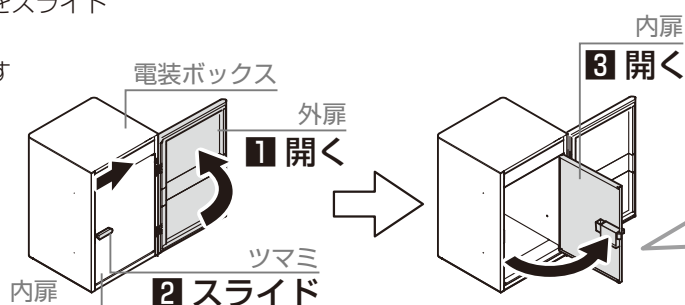
- 外扉に取付いている養生用のビニール袋は、施工完了まで外さないでください。



- 反対面も同様の穴加工をしてください。

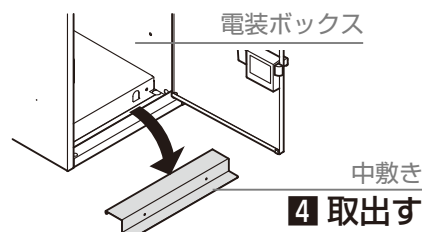
4-5 取付け準備

- 1: 外扉を開く
- 2: 内扉のツマミをスライド
- 3: 内扉を開く
- 4: 中敷きを取出す



お願い

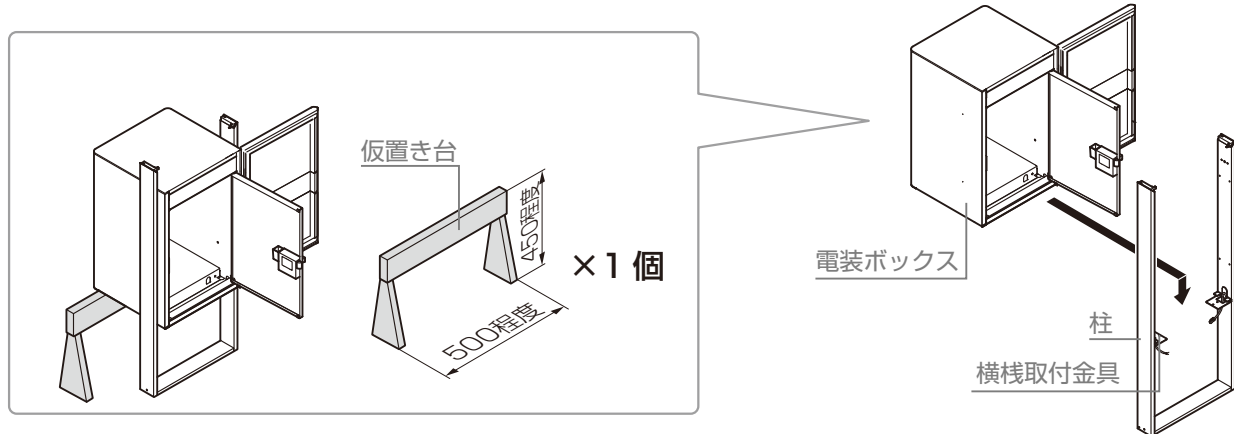
- 取外した中敷きは紛失しないようにしてください。



5 電装ボックスの取付け（ポール建て仕様）

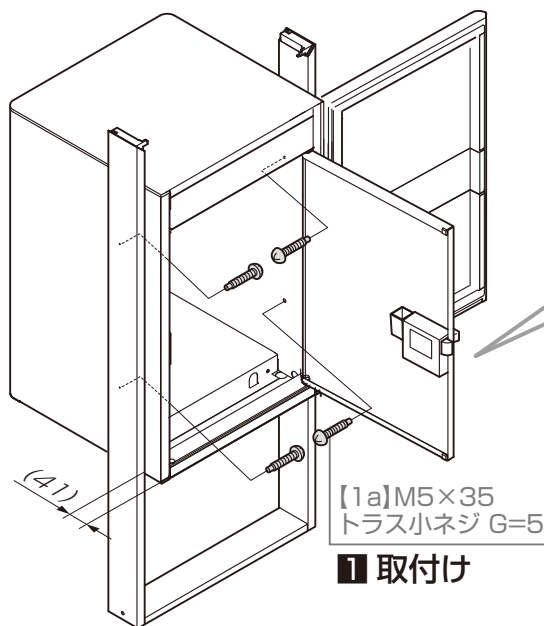
お願い

●横棧取付金具に仮置きする際に、図のような仮置き台があると作業しやすくなります。



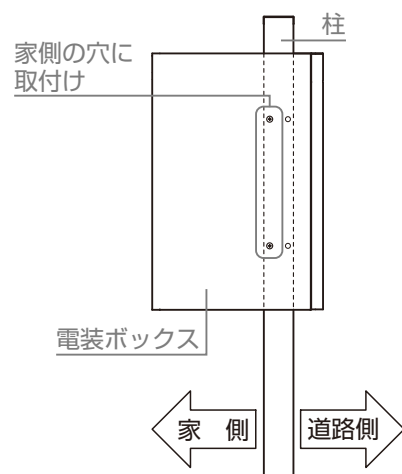
5-1 電装ボックスの取付け

❶: 横棧取付金具に仮置きし、電装ボックスを柱に【1a】で取付け



お願い

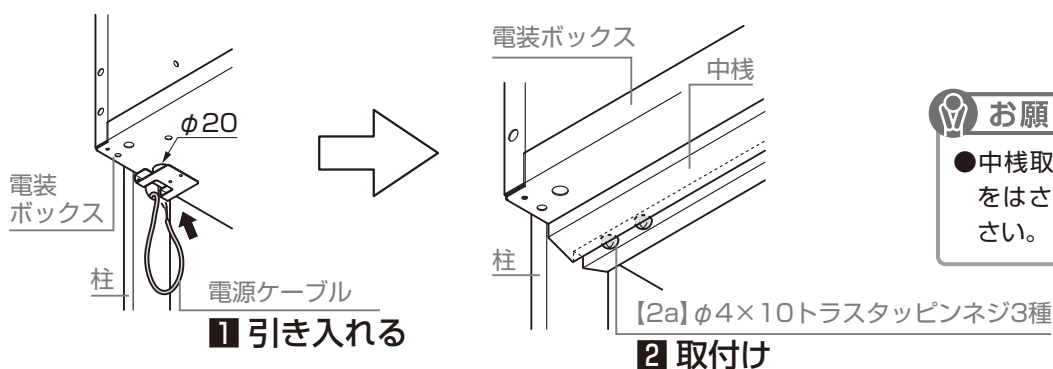
●柱の家側の穴に取付けてください。



5-2 中棧の取付け

❶: 電源ケーブルを電装ボックス下側のφ20の配線穴から内部に引き入れる

❷: 中棧を横棧取付金具に【2a】で取付け



お願い

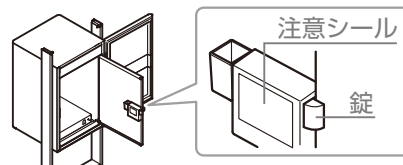
●中棧取付の際に電源ケーブルをはさまないようにしてください。

5 電装ボックスの取付け（ポール建て仕様）

5-3 電源ケーブルの接続

お願い

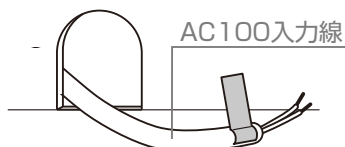
- 電源ケーブルを接続した後もポストと宅配ボックスの内扉錠の注意シールは剥がさないでください。
電源ケーブルの接続前と通電前に注意シールを剥がして内扉を閉めると、施錠されて開かなくなります。



1: 電源ケーブルとAC100V入力線を接続

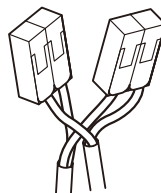
補足

- AC100V入力線の配線は奥の孔から出ています。



お願い

- DC12V接続コネクタは工場組付済です。現場で外さないでください。

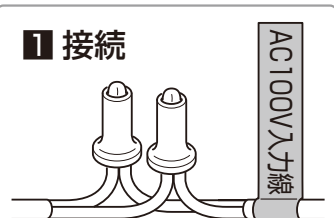


警告

- DC12V接続コネクタを外し、AC100Vを接続しないでください。操作パネルやDC12V内蔵トランスの故障や火災の原因となります。

DC12V内蔵トランス
(工場組付済)

1 接続

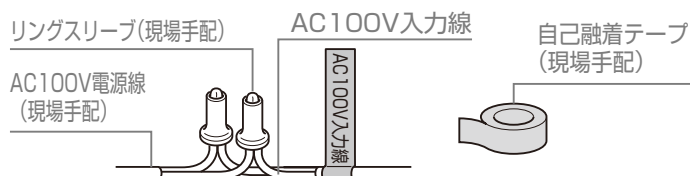


AC100V電源線
(現場手配)

DC12V接続コネクタ
(工場組付済)

警告

- 配線接続部はリングスリーブで確実にを行い、自己融着テープなどでテーピング処理を施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災、感電の原因となります。

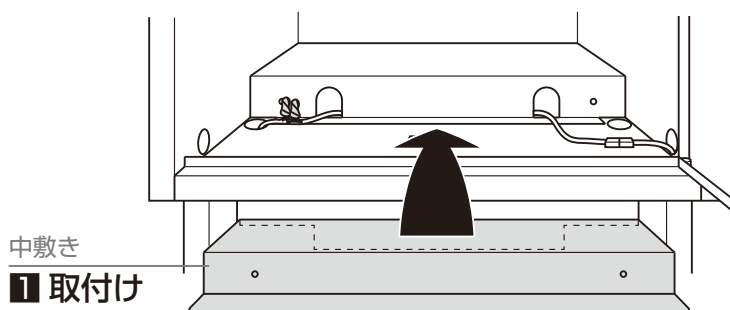


5-4 中敷きの取付け

1: 中敷きを電装ボックスに取付け

お願い

- 配線をはさまないようにしてください。



5-5 上栈の再取付

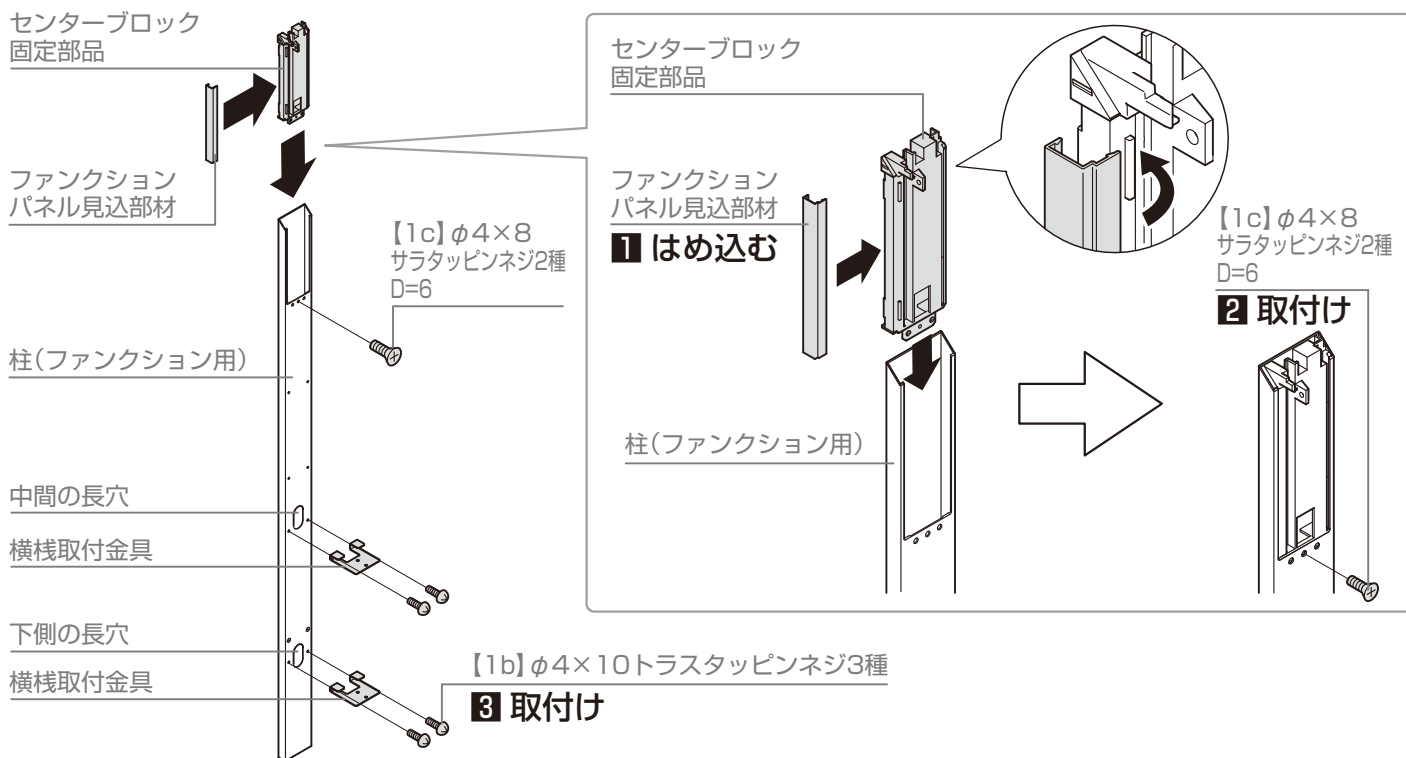
お願い

- 3-4 上栈の取付** を参照して上栈を取付けてください。
※電装ボックスの外扉を開けた状態にしておくとう取付けやすくなります。
- 取付後、P28 **10-1 通電の確認** に進んでください。

6 本体の組立て（ファンクション仕様）

6-1 柱

- ❶: ファンクションパネル見込部材をセンターブロック固定部品にはめ込む
- ❷: センターブロック固定部品を柱（ファンクション用）に【1c】で取付け
- ❸: 横棧取付金具を柱（ファンクション用）に【1b】で取付け

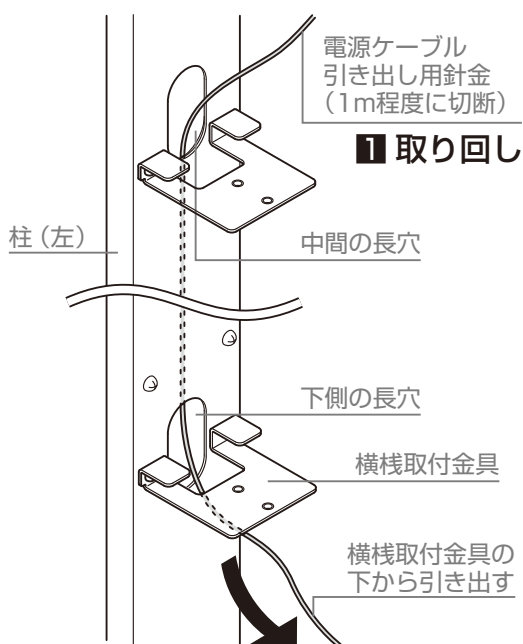


6-2 配線引き出し用針金

- ❶: 電源ケーブル引き出し用針金、インターホン信号線引き出し用針金を取り回し

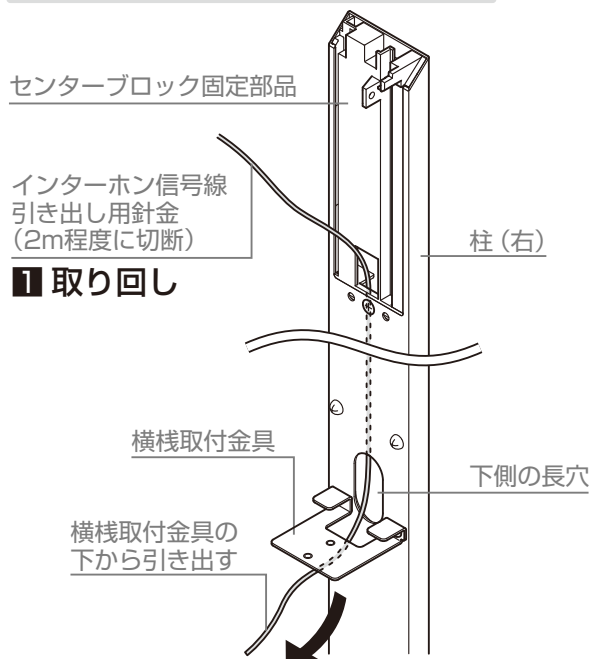
お願い

- 宅配ポストの電源ケーブル引き出し用針金とインターホン信号線引き出し用針金は別々の柱に通してください。柱の下側の長穴にはPF管が1本しか入らないため、同じ柱に2本の配線を通すことはできません。



●電源ケーブル引き出し用

▼ インターホンを取付ける場合 ▼



●インターホン信号線引き出し用

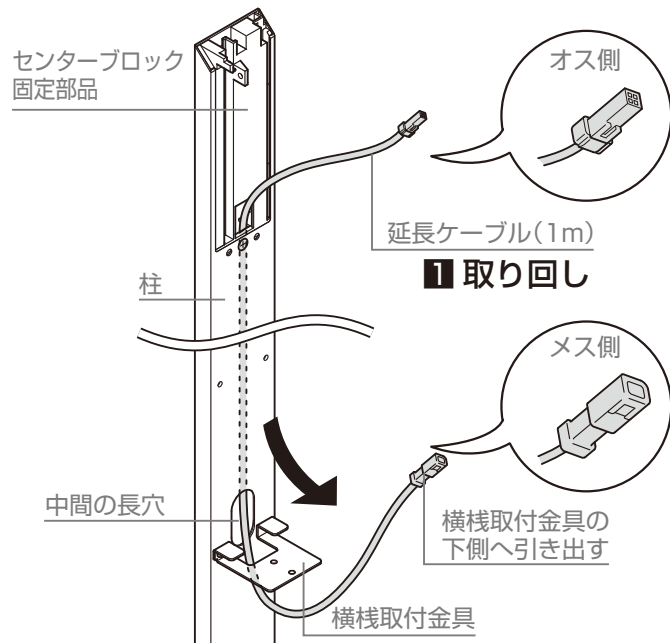
6 本体の組立て（ファンクション仕様）

6-3 延長ケーブル、渡り配線ケーブル

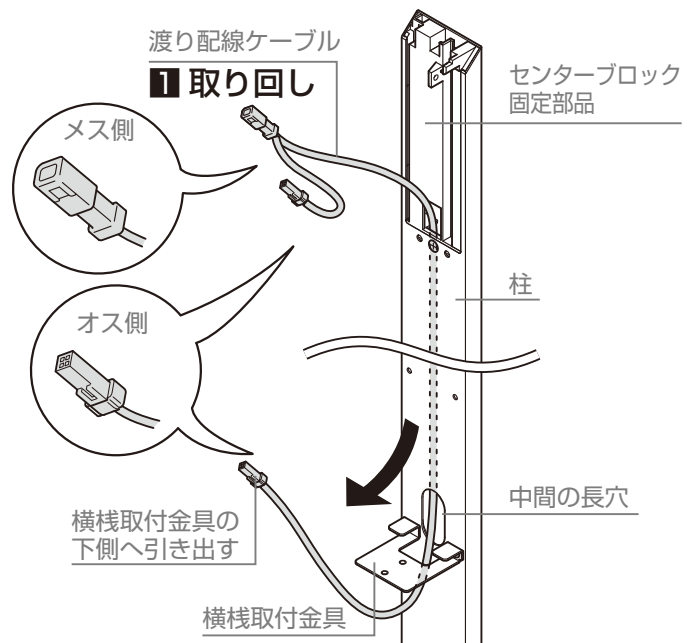
❶:延長ケーブル、渡り配線ケーブルを取り回し

▼ サインライトを取付ける場合 ▼

▼ 木目調サイン(バックライトあり)を取付ける場合 ▼



▼ ホームネットワークシステムと接続しないでフットライトを取付ける場合
(明るさセンサを使用してフットライトを取付ける場合) ▼

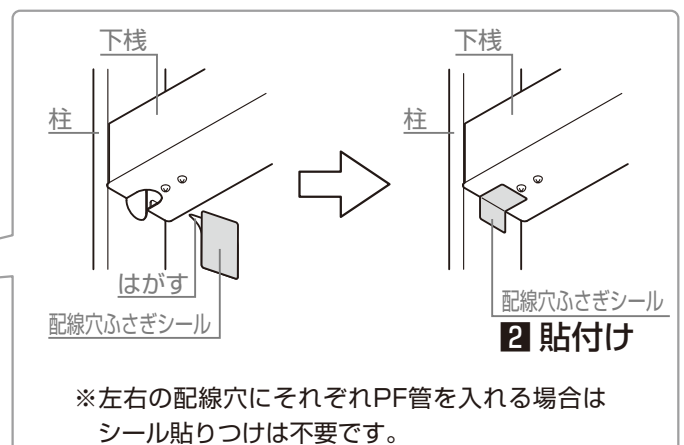
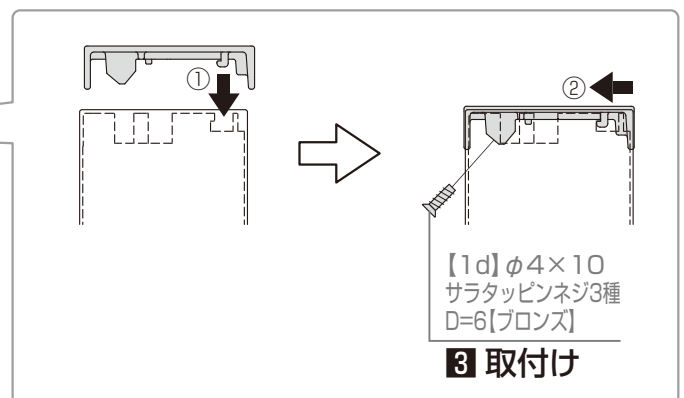
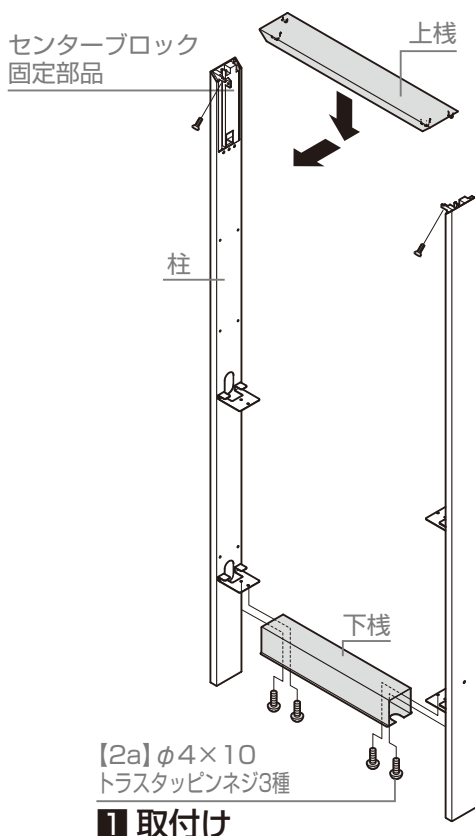


6-4 上棧・下棧の取付、配線穴ふさぎシール

❶:下棧を柱に【2a】で取付け

❷:配線穴ふさぎシールを下棧の配線穴に貼付け

❸:上棧を上棧固定金具に【1d】で取付け



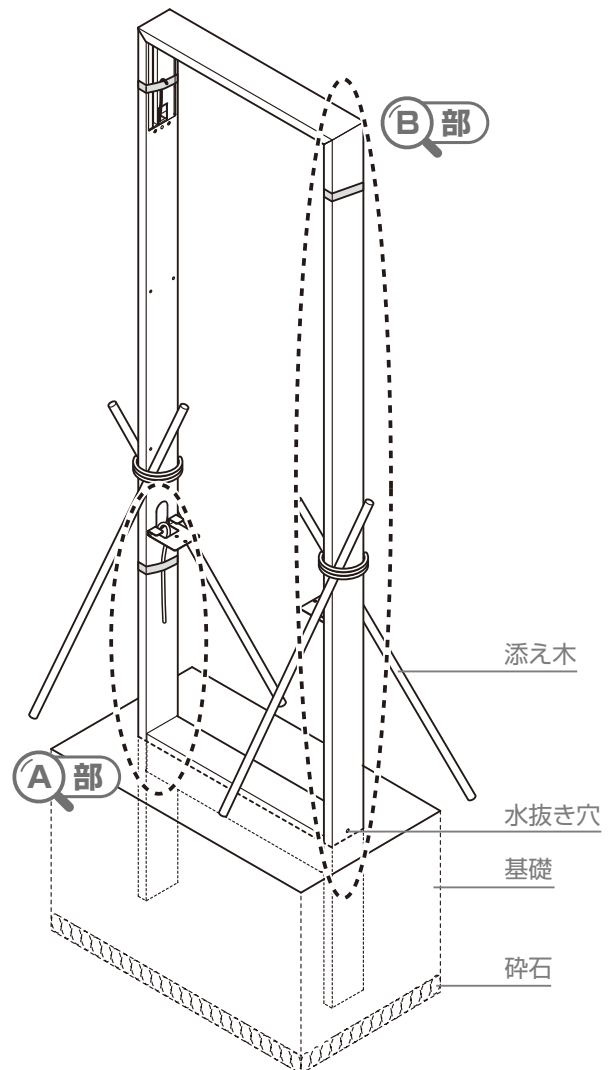
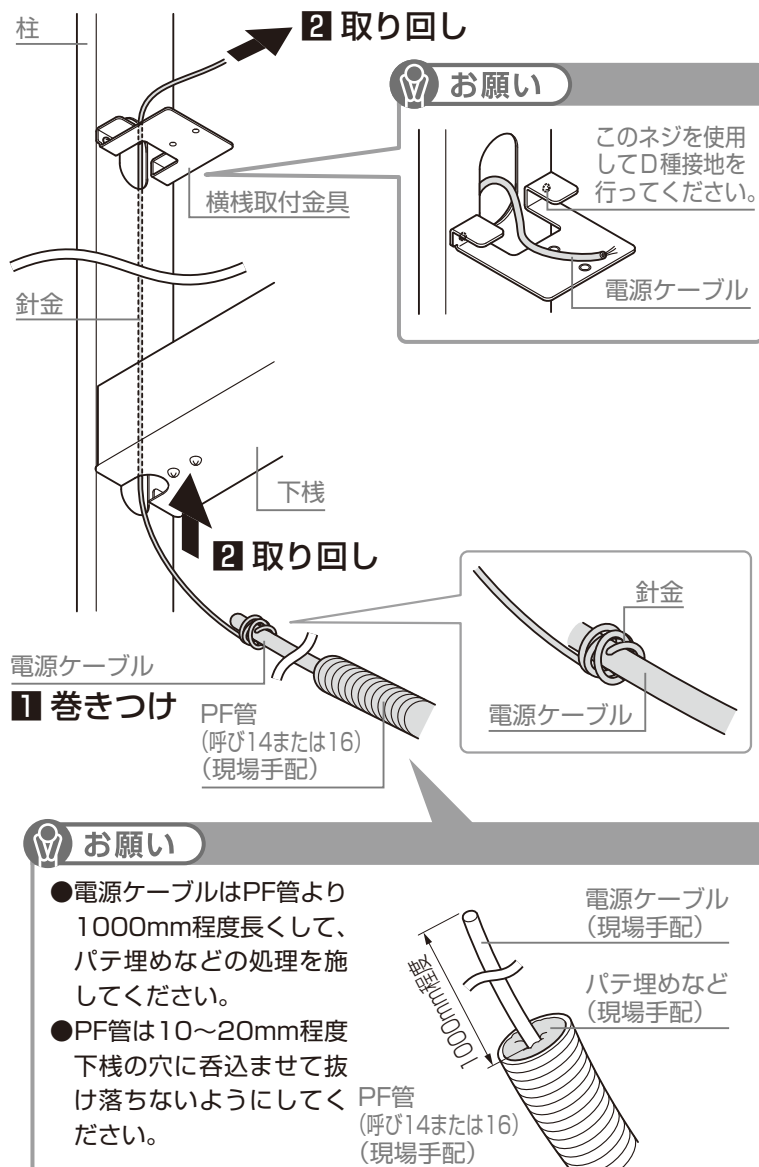
7 本体の建て込み（ファンクション仕様）

7-1 電源ケーブル、インターホン信号線の引き出し

電源ケーブルの引き出し

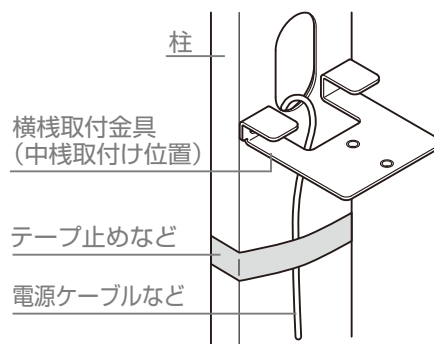
- ❶: 電源ケーブルに、取り回した針金を巻きつけ
- ❷: 針金を引き上げて宅配ポスト電源ケーブルを柱内に取り回し

A 部詳細図



お願い

- 配線を引出し後、各配線は柱の中に引込まれないようテープ等で固定してください。
- 中棧取付け位置の配線は電装ボックス内へ引込みやすいように、横棧取付金具の穴を通して下側へ取回してください。



7 本体の建て込み（ファンクション仕様）

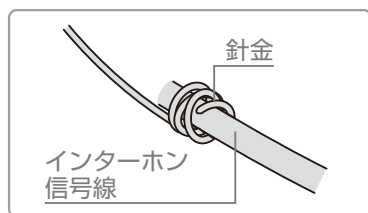
▼ インターホン信号線の引き出し（インターホン取付けの場合） ▼

- 1: インターホン信号線に、取り回した針金を巻きつけ
- 2: 針金を引き上げてインターホン信号線を柱内に取り回し

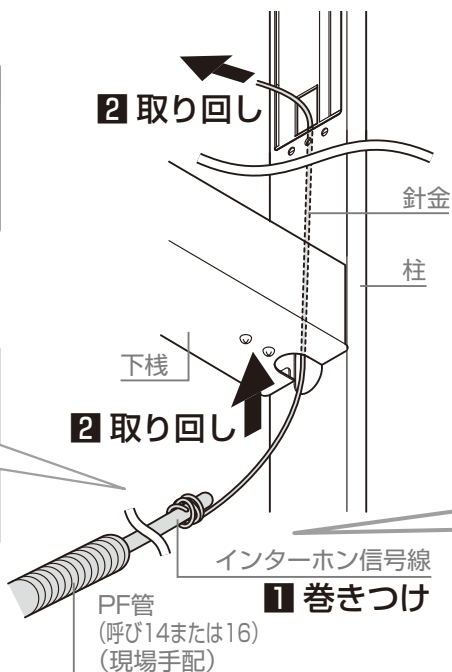
B 部詳細図

💡 お願い

- PF管は10～20mm程度下
木の穴に吞込ませて抜け落
ちないようにしてください。



2 取り回し



🔧 補 足

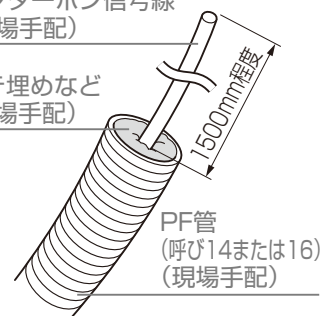
- 電源ケーブルとは反対の柱に通し
てください。

💡 お願い

- インターホン信号線はPF管より
1500mm程度長くして、パテ埋め
などの処理を施してください。

インターホン信号線
(現場手配)

パテ埋めなど
(現場手配)



7-2 柱の埋め込み

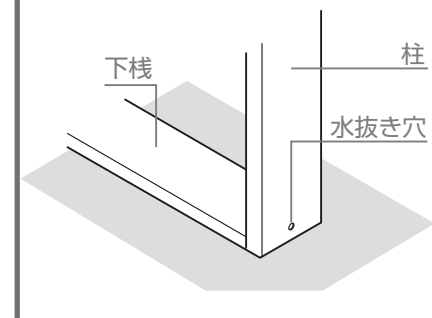
- 1: 基礎コンクリートを打設

💡 お願い

- 柱の垂直を確認してください。

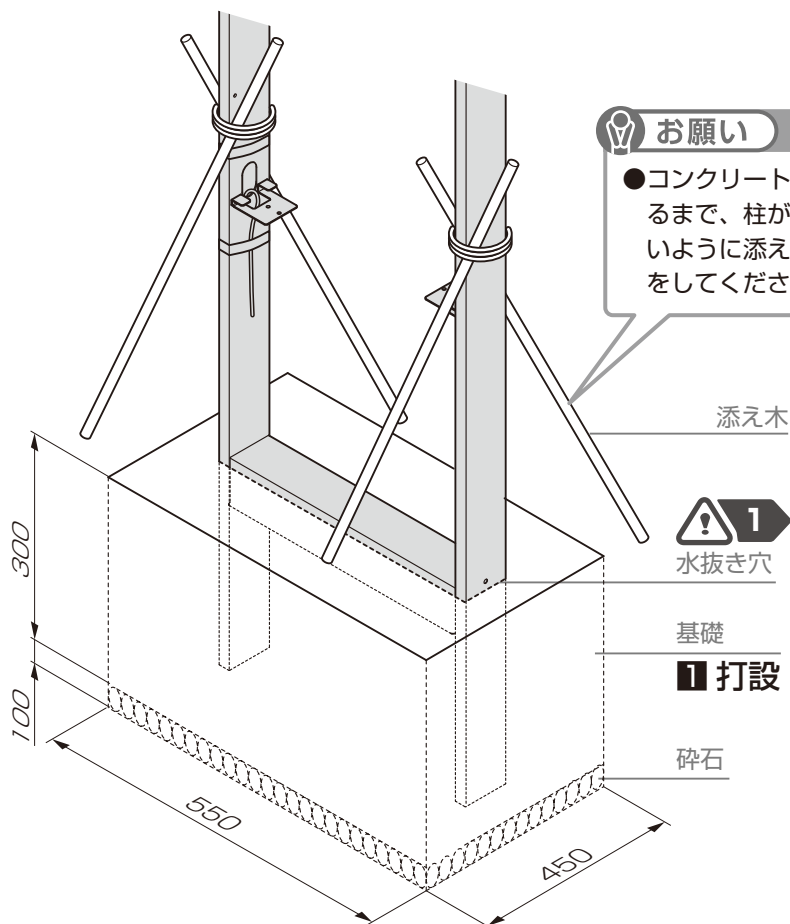
⚠ 注意 1

- 水抜き穴をふさがないようにして
ください。



💡 お願い

- コンクリートが固ま
るまで、柱が倒れな
いように添え木など
をしてください。



8 電装ボックスの取付け（ファンクション仕様）

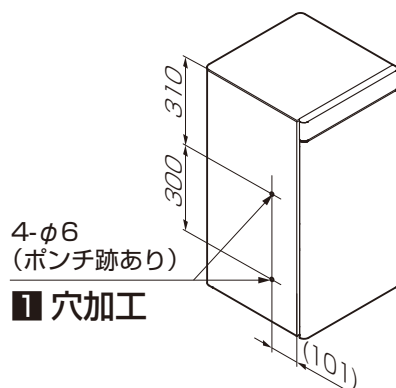
8-1 上棧の取外し

お願い

- [6-4] 上棧・下棧の取付 を参照して一度上棧を外してください。

8-2 孔加工

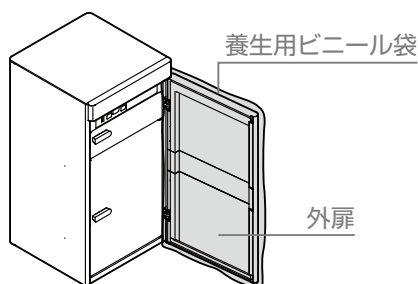
1: 電装ボックスにφ6の穴加工



1 穴加工

お願い

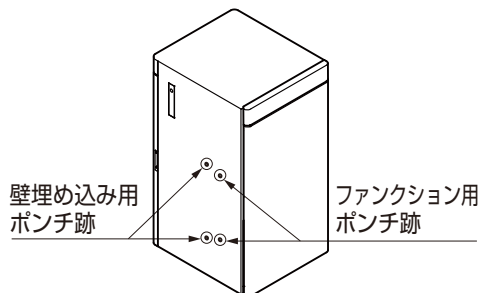
- 外扉に取付いている養生用のビニール袋は、施工完了まで外さないでください。



- 反対面も同様の穴加工をしてください。

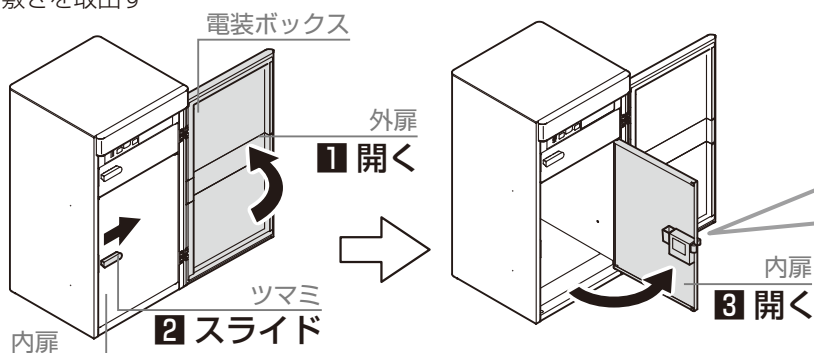
補足

- 後取り出し仕様の時はポンチ跡が4つあります。壁埋め込み枠用のポンチ跡部に穴加工しないでください。



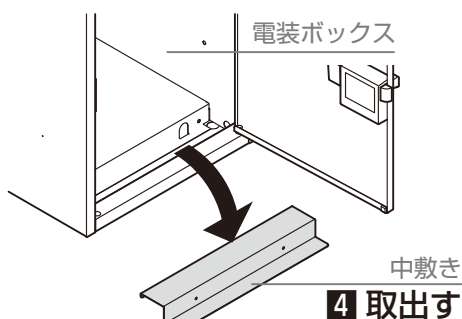
8-3 取付け準備

- 1: 外扉を開く
- 2: 内扉のツマミをスライド
- 3: 内扉を開く
- 4: 中敷きを取出す



お願い

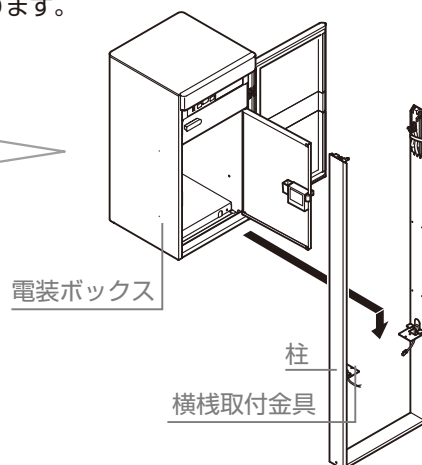
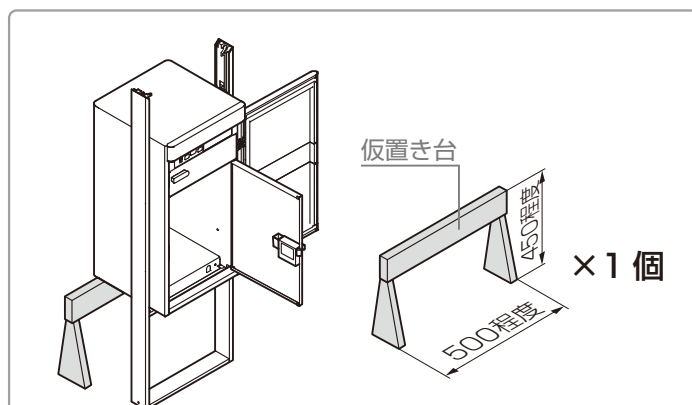
- 取外した中敷きは紛失しないようにしてください。



8-4 電装ボックスの取付け

お願い

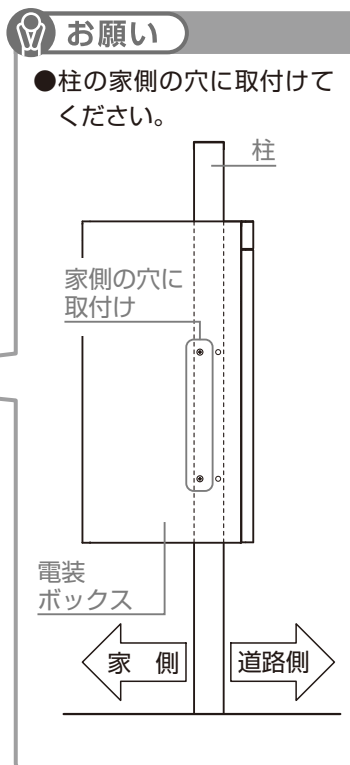
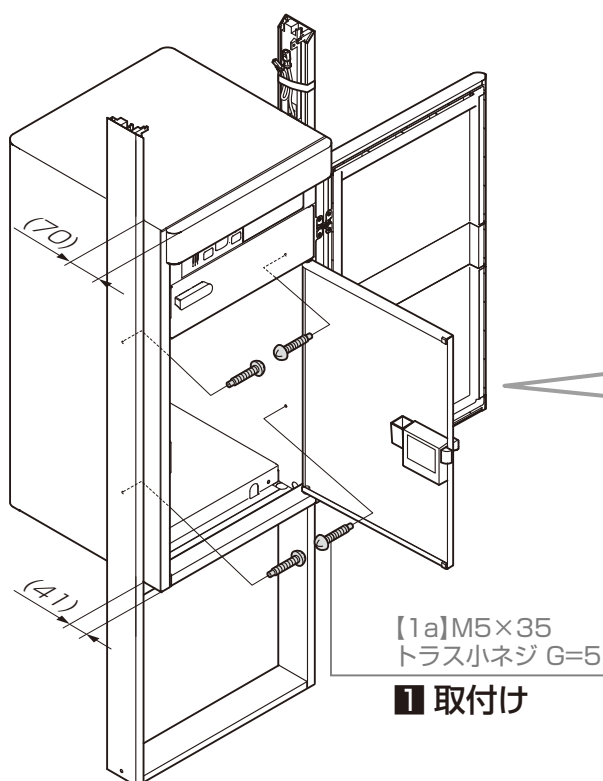
- 横棧取付金具に仮置きする際に、図のような仮置き台があると作業しやすくなります。



8 電装ボックスの取付け（ファンクション仕様）

8-4 電装ボックスの取付け

1: 横棧取付金具に仮置きし、電装ボックスを柱に【1a】で取付け

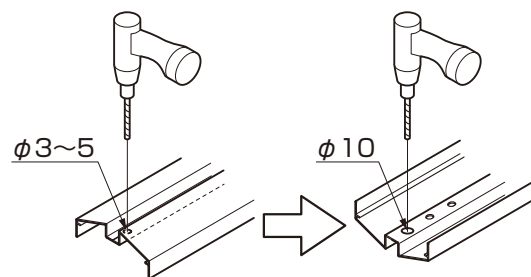
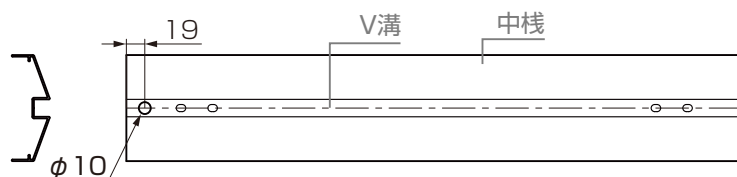


8-5 中棧の取付け

お願い

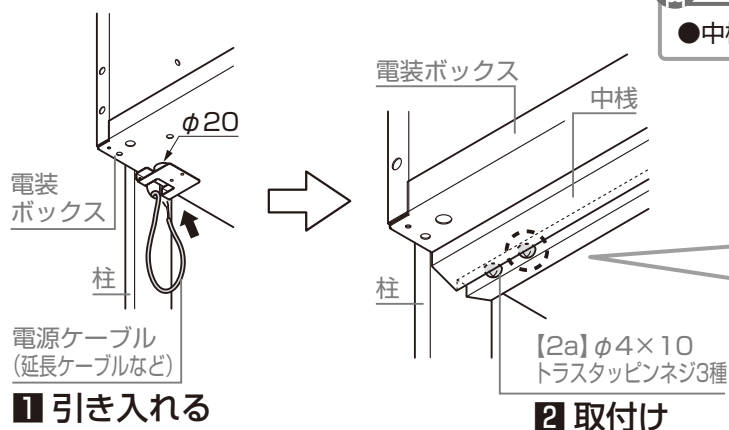
▼ フットライト オプション を取付ける場合 ▼

- 中棧にφ10の穴加工をしてください。（1カ所）
- 左右どちらに加工しても取付けは可能です。
- 穴あけの際は中棧をキズ付けないように、工程を分けて加工してください。（加工時に発生したバリは取り除いてください。）



1: 電源ケーブルを電装ボックス下側のφ20の配線穴から内部に引き入れる

2: 中棧を横棧取付金具に【2a】で取付け



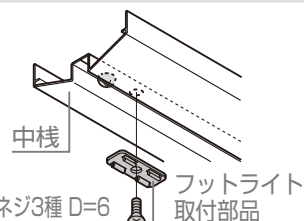
お願い

- 中棧取付の際に電源ケーブルをはさまないようにしてください

お願い

▼ フットライト オプション を取付ける場合 ▼

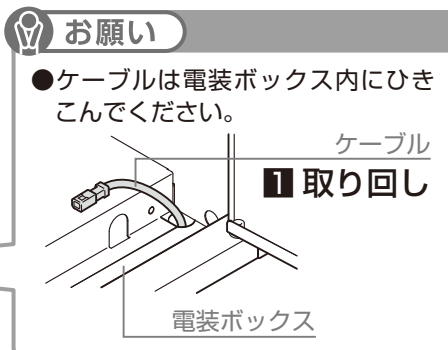
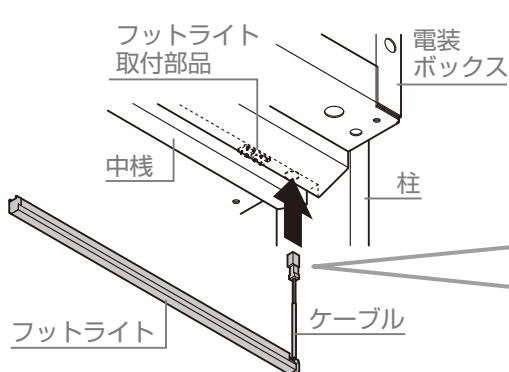
- フットライト取付部品を中棧の中央側の穴に【3a】で取付けてください。



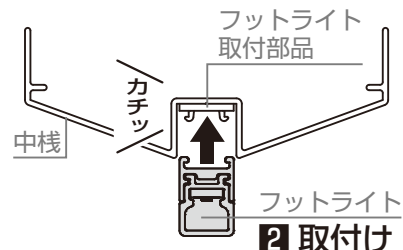
8 電装ボックスの取付け（ファンクション仕様）

8-6 フットライトの取付け（オプション）

- 1: フットライトのケーブルを、中棧のφ10穴から電装ボックスに取り回し
- 2: フットライトをフットライト取付部品に取付け



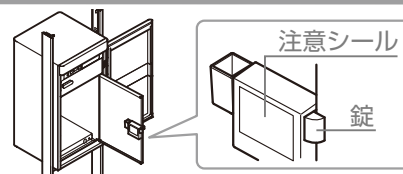
- フットライトは「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



8-7 電源ケーブルの接続

お願い

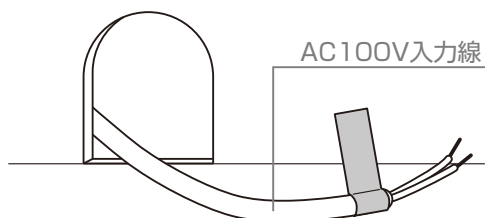
- 電源ケーブルを接続した後もポストと宅配ボックスの内扉錠の注意シールは剥がさないでください。
電源ケーブルの接続前と通電前に注意シールを剥がして内扉を閉めると、施錠されて開かなくなります。



- 1: 電源ケーブルとAC100V入力線を接続

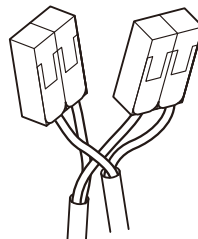
補足

- AC100V入力線の配線は奥の孔から出ています。



お願い

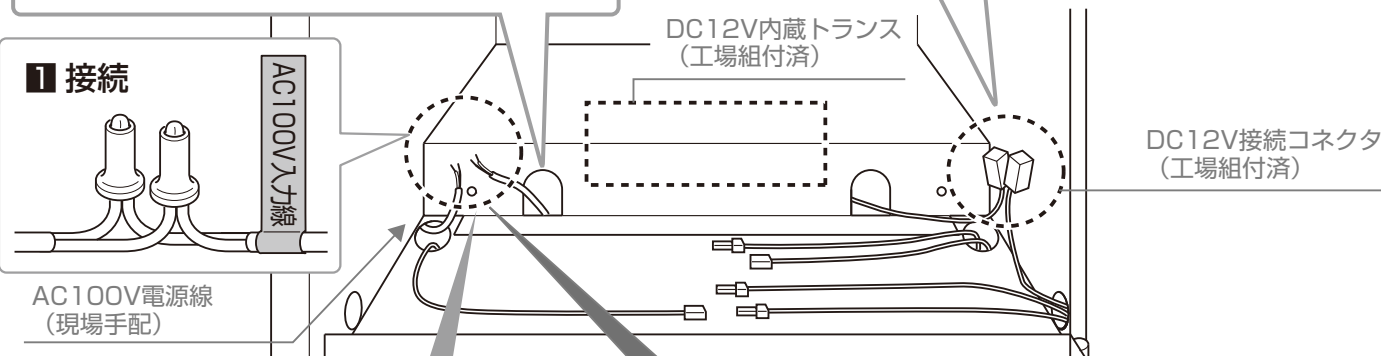
- DC12V接続コネクタは工場組付済です。現場で外さないでください。



警告

- DC12V接続コネクタを外し、AC100Vを接続しないでください。操作パネルやDC12V内蔵トランスの故障や火災の原因となります。

1 接続

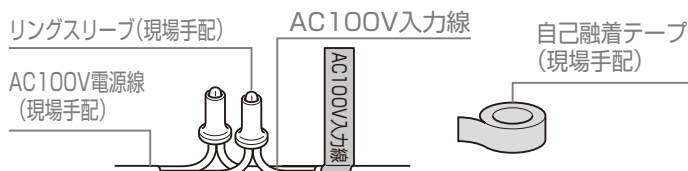


お願い

- AC100V電源線(現場手配)が長い場合、中敷きが納めづらいことがあります。その際はAC100V電源線(現場手配)を短くしてください。

警告

- 配線接続部はリングスリーブで確実にし、自己融着テープなどでテーピング処理を施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災、感電の原因となります。

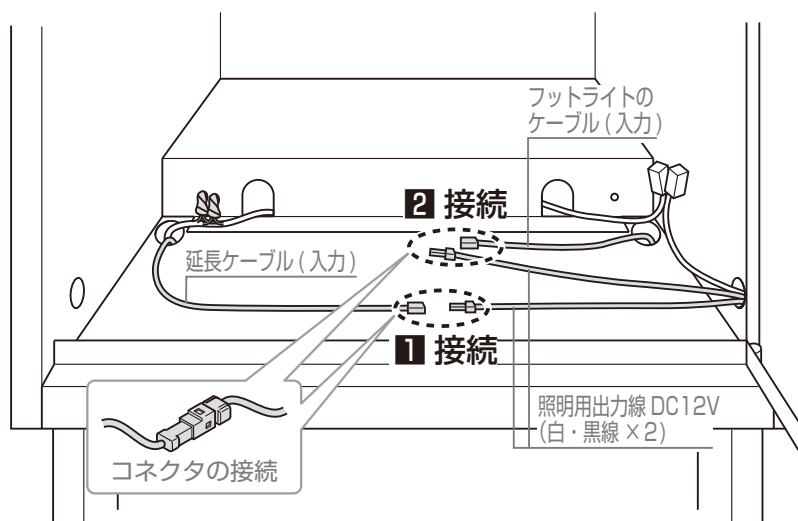
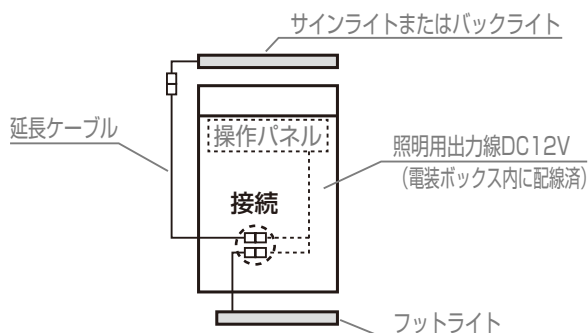


8 電装ボックスの取付け（ファンクション仕様）

8-8 照明配線の接続（電装ボックス内）

ホームネットワークシステムと接続する場合

- 1: 照明用出力線と延長ケーブル(入力)を接続
- 2: 照明用出力線とフットライトのケーブル(入力)を接続



お願い

- 使用しない照明用出力線の先端を自己融着テープなどで防水テーピングしてください。



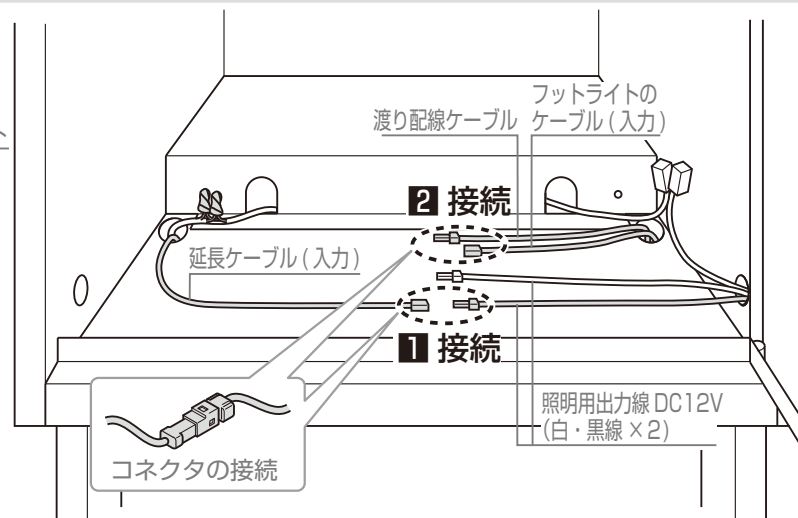
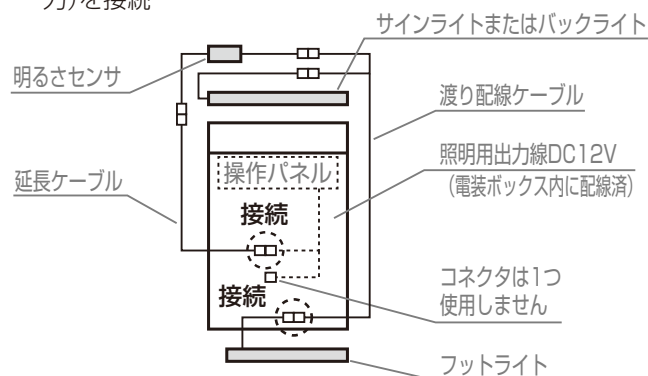
自己融着テープ (現場手配)



使用しない照明用出力線

ホームネットワークシステムと接続しない場合

- 1: 照明用出力線と延長ケーブル(入力)を接続
- 2: 渡り配線ケーブルとフットライトのケーブル(入力)を接続



お願い

- 使用しない照明用出力線の先端を自己融着テープなどで防水テーピングしてください。



自己融着テープ (現場手配)



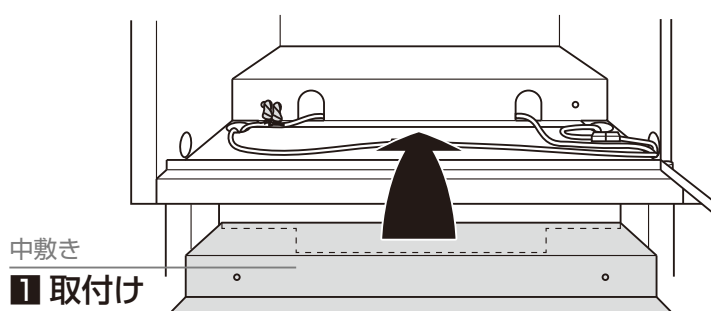
使用しない照明用出力線

8-9 中敷きの取付け

- 1: 中敷きを電装ボックスに取付け

お願い

- 配線をはさまないようにしてください。



9 センターブロックの取付け（ファンクション仕様）

9-1 パネルの加工

▼ フロントパネルの加工（インターホンを露出して取付ける場合のみ） ▼

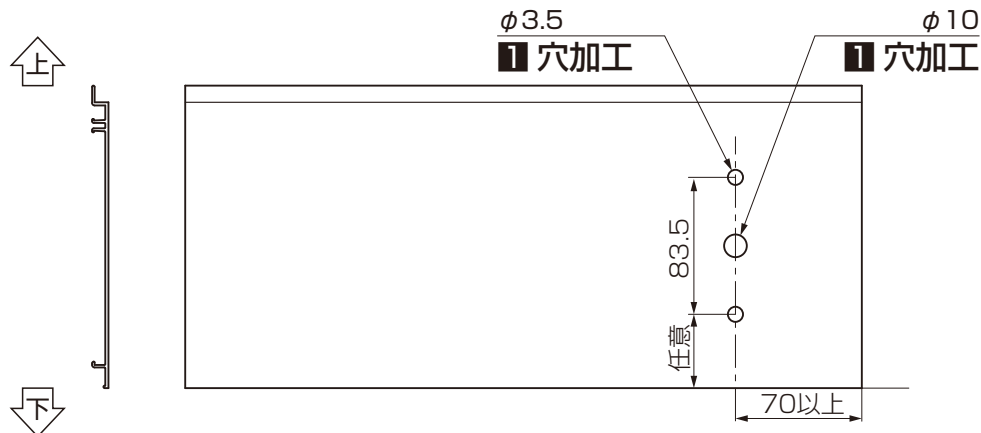
1: フロントパネルにφ10とφ3.5の穴加工

補足

- 左右どちらに加工しても取付けは可能です。

お願い

- サインを取付ける場合は、取付け寸法に注意してください。

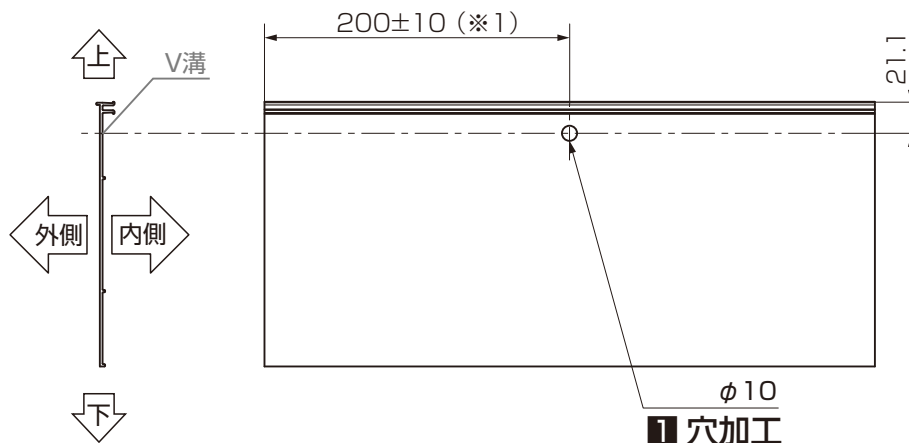


▼ バックパネルの加工（明るさセンサーを取付ける場合のみ） ▼

1: バックパネルにφ10の穴加工

お願い

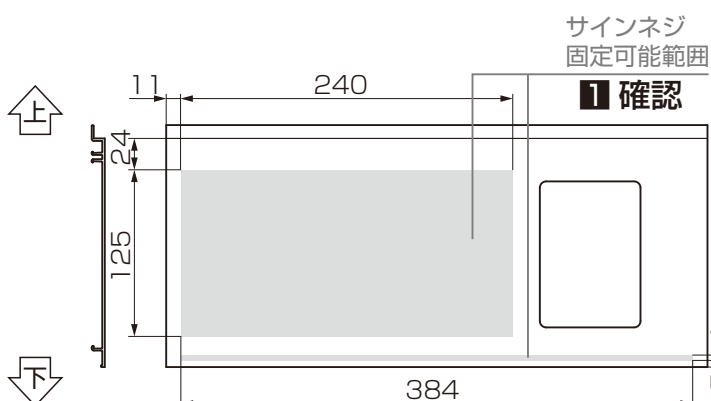
- バックパネルにキズが付けないように一度 内側からφ3～5の穴をあけてからφ10の加工をしてください。（加工時に発生したバリは取り除いてください。）
- 200±10内に穴加工をしてください。範囲外に穴をあけると、明るさセンサーの配線引き回しがしづらくなります。（※1）



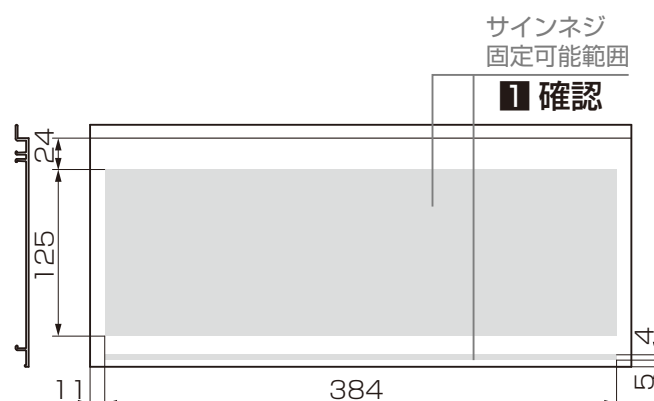
9-2 サインの取付け穴加工

1: サインのネジ固定可能範囲を事前に確認してください。

▼ フロントパネル インターホン内蔵用の場合 ▼



▼ フロントパネル 加工なしの場合 ▼



9-2 サインの取付け穴加工

 お願い

-

名称	A	B
▼切り文字サイン 小	160	φ4
▼切り文字サイン 中	214	φ4
▼切り文字サイン 大	191	φ4
▼抜き文字プレートサイン	205	φ5
▼アクリルバーサイン	150	φ5
▼ガラスサイン	160	φ5
▼木目調サイン バックライトなし	131	φ5

名称	A	B・(B)	E
ガラスサイン	110	φ5	110

名称	A	B	C	D
▼木目調サイン バックライトあり	131	φ5	φ10	11

名称	A	B
切り文字サイン A (小)	※1	φ4
切り文字サイン B (小)	※1	φ5
切り文字サイン C (小)	130	φ5
切り文字サイン D (小)	130	φ5
SUS 切り文字バーサイン	185	φ5
ステンレスサイン	110	φ5
SUS 抜き文字バーサイン	185	φ5

※1 名入れ文字により取付けピッチが異なります。
現物合わせしてください。

 補足

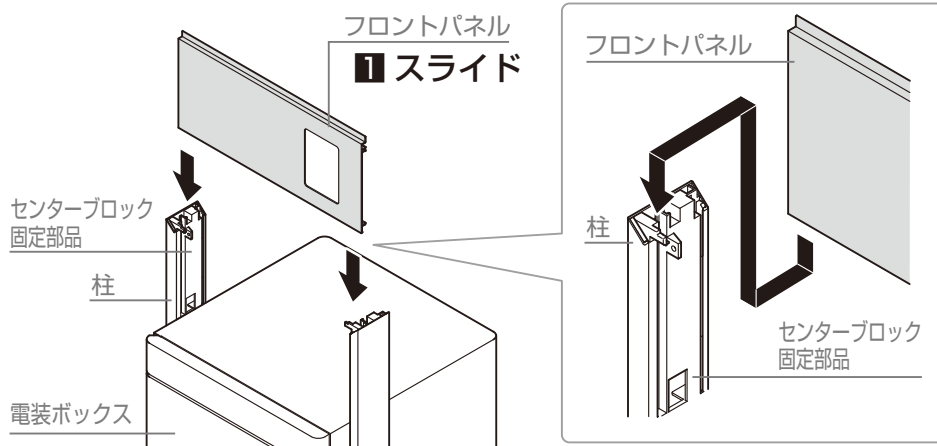
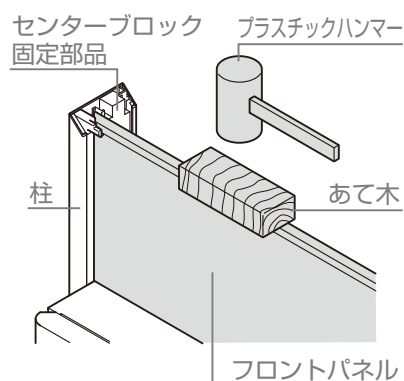
- 記載のないサインに関しては現物合わせで穴加工してください。
●切り文字サイン 大 は3点止めになりますので、(A)の穴空けも必要です。(※2)

9-3 フロントパネルの取付け

1: フロントパネルをセンターブロック 固定部品の溝にスライド

 お願い

- フロントパネル上部にあて木をあてがい、プラスチックハンマー等でめ込んでください。



 お願い

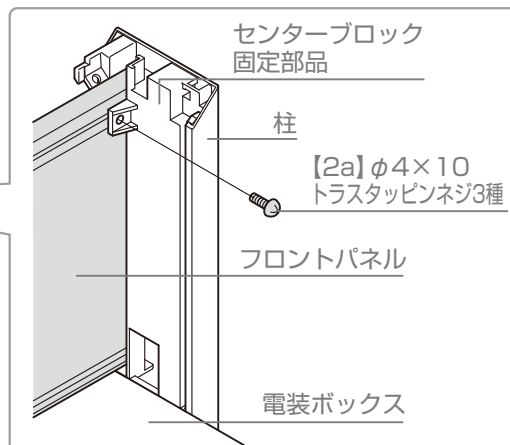
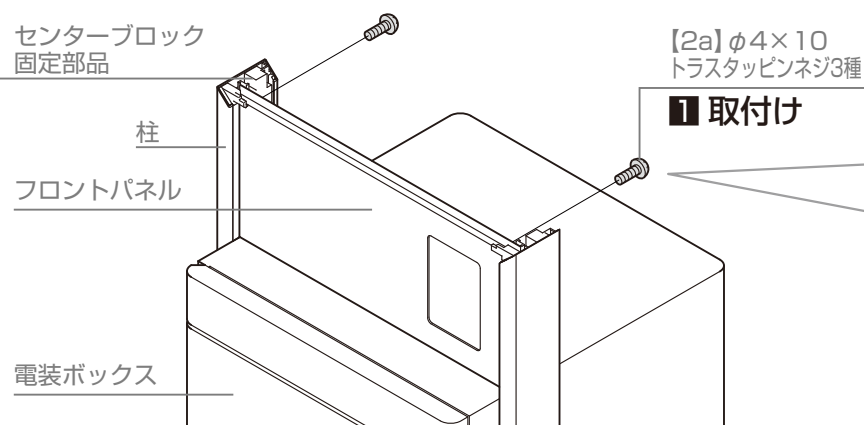
- サインで「切り文字サイン（大）」を事前に取り付けた場合、一度サインを外してからスライドしてください。

9 センターブロックの取付け（ファンクション仕様）

9-3 フロントパネルの取付け

つづき

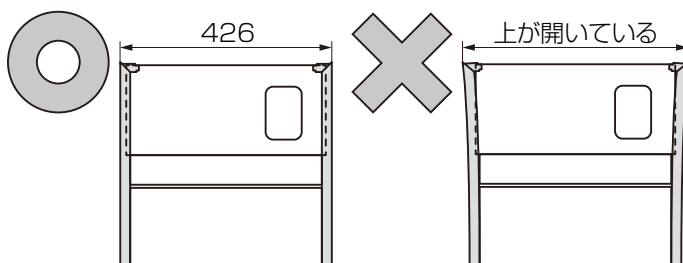
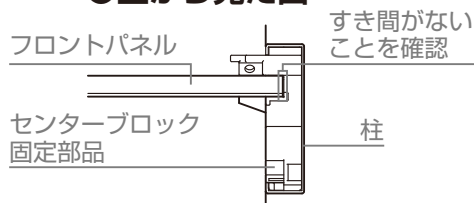
①：フロントパネルを【2a】で取付け



お願い

- フロントパネルとセンターブロックの間にすき間がないことと、柱の上部が開いていないことを確認してから【2a】を固定してください。

●上から見た図



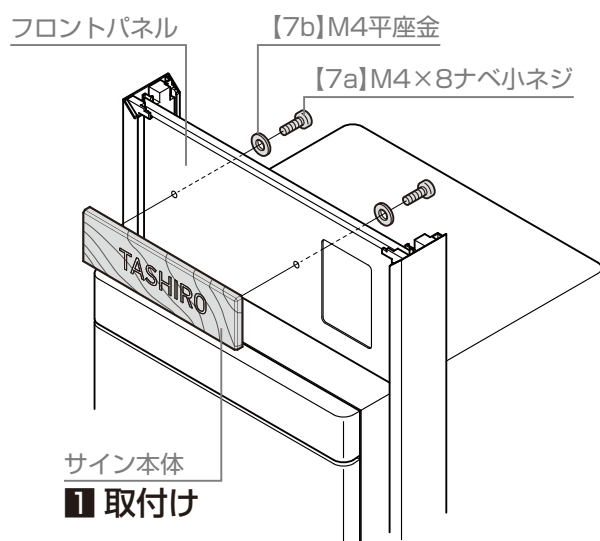
9-4 サインの取付け

補足

- 記載のないサインに関しては現物合わせで穴加工後、同梱されているネジ類で固定してください。

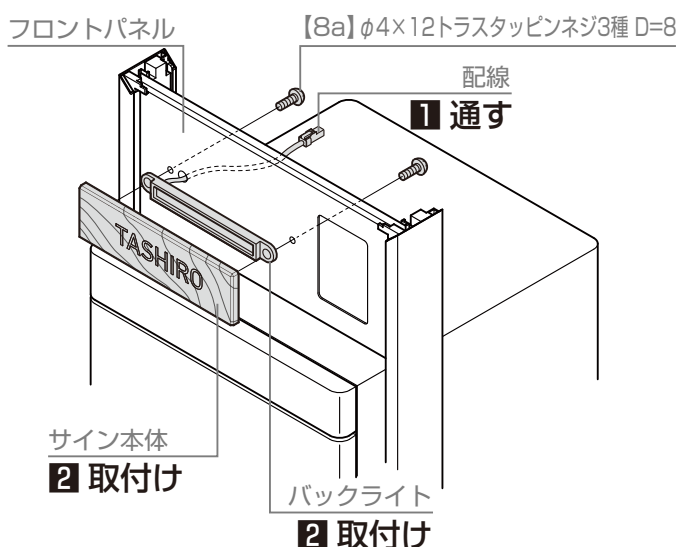
木目調サイン(バックライトなし)

①：木目調サインをフロントパネルに【7a】、【7b】で取付け



木目調サイン(バックライトあり)

①：バックライトの配線をφ10の穴に通す
②：木目調サインとバックライトをフロントパネルに【8a】で取付け



補足

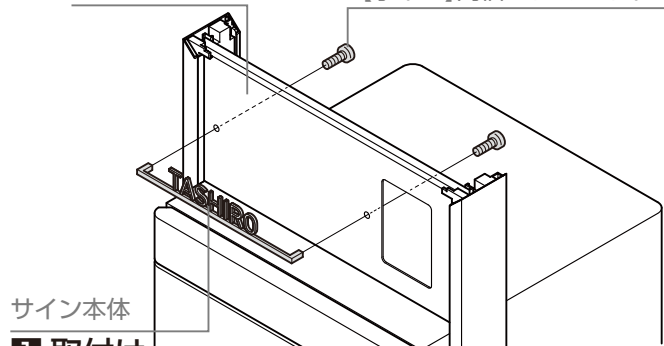
- バックライトありの場合【7a】、【7b】は使用しません。

9 センターブロックの取付け（ファンクション仕様）

9-4 サインの取付け

切り文字サイン（小）（中）（大） 抜き文字プレートサイン・アクリルバーサイン

- ❶: フロントパネルに【小ネジ】で取付け
フロントパネル



❶ 取付け

※図は切り文字サイン(中)を示す

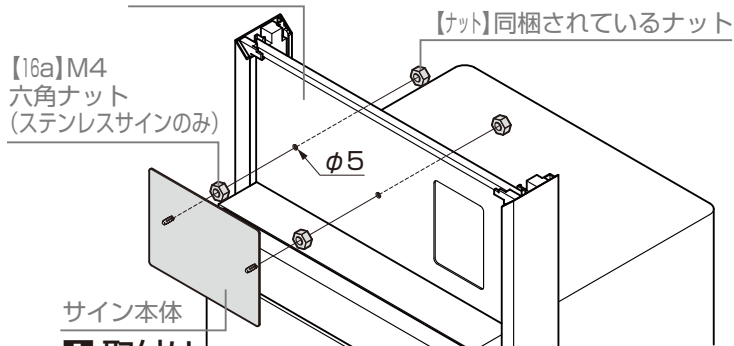


補 足

●取付けに使用する『小ネジ』『ナット』についてはサイン本体によって異なります。梱包明細ご確認ください。

切り文字サインA・B・C・D ステンレスサイン

- ❶: フロントパネルに【ナット】で取付け
フロントパネル

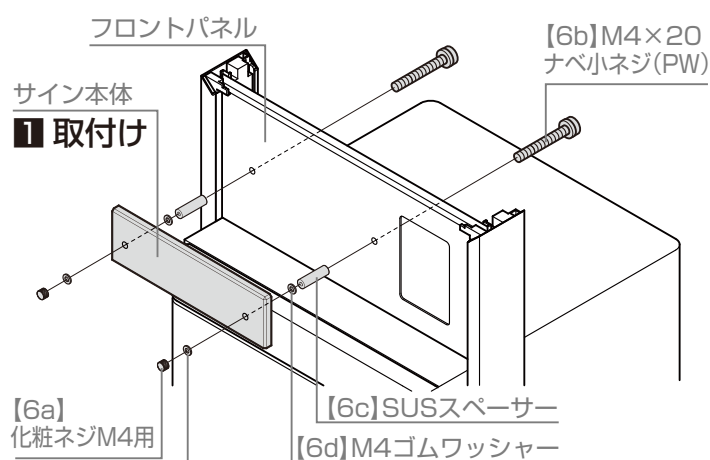


❶ 取付け

※図はステンレスサインを示す

ガラスサイン

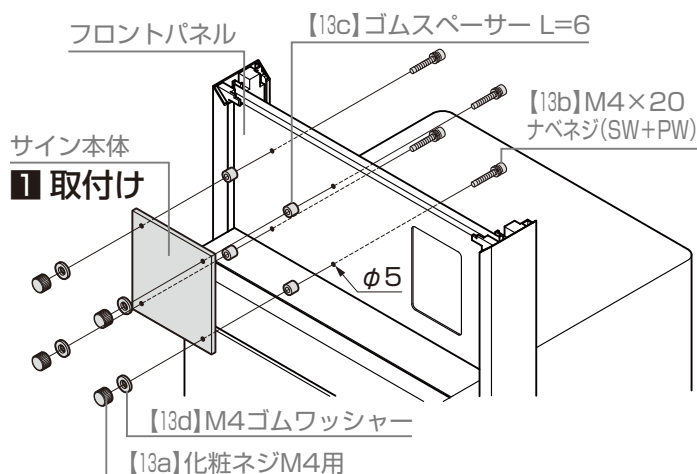
- ❶: フロントパネルに【6a】、【6b】、【6c】、【6d】で取付け



❶ 取付け

ガラスサイン(145角)

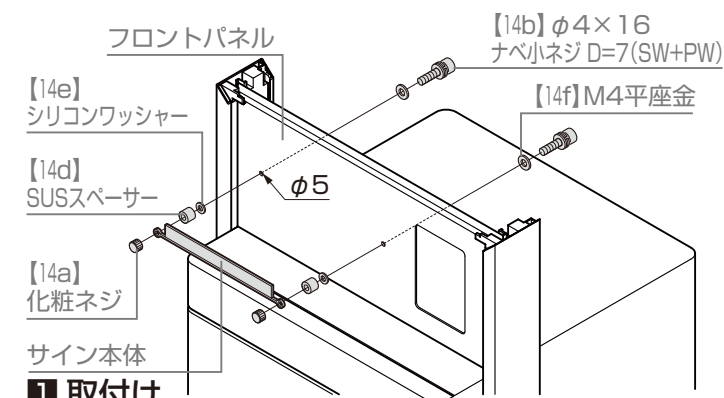
- ❶: フロントパネルに【13a】、【13b】、【13c】、【13d】で取付け



❶ 取付け

SUS切り文字バーサイン

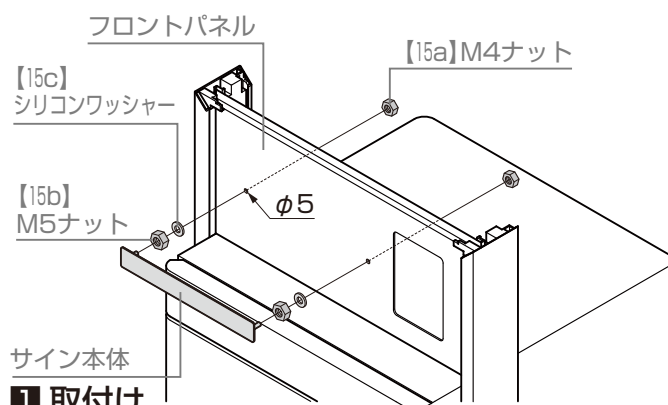
- ❶: フロントパネルに【14a】、【14b】、【14d】、【14e】、【14f】で取付け



❶ 取付け

SUS抜き文字バーサイン

- ❶: フロントパネルに【15a】、【15b】、【15c】で取付け



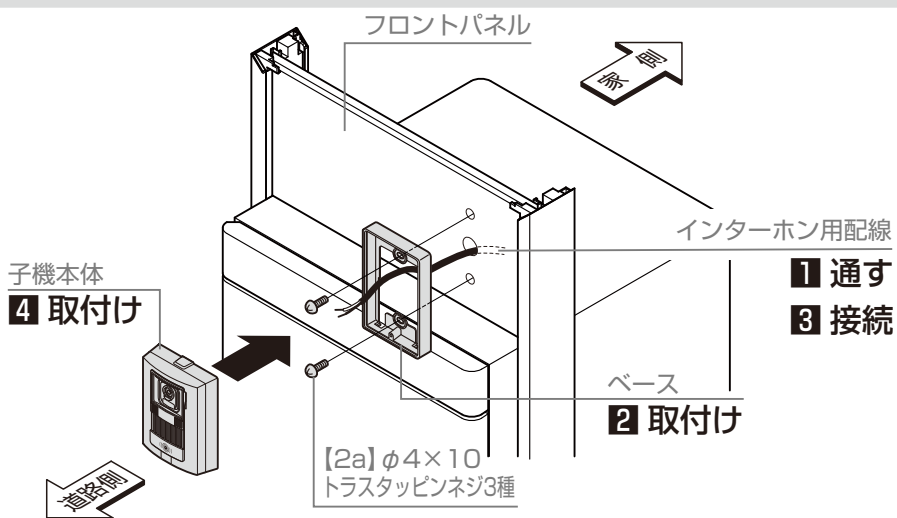
❶ 取付け

9 センターブロックの取付け（ファンクション仕様）

9-5 インターホンの取付け

インターホン露出仕様の場合

- 1: インターホン用配線をベースに通す
- 2: ベースをフロントパネルに【2a】で取付け
- 3: インターホン用配線の子機本体に接続
- 4: 子機本体をベースに取付け



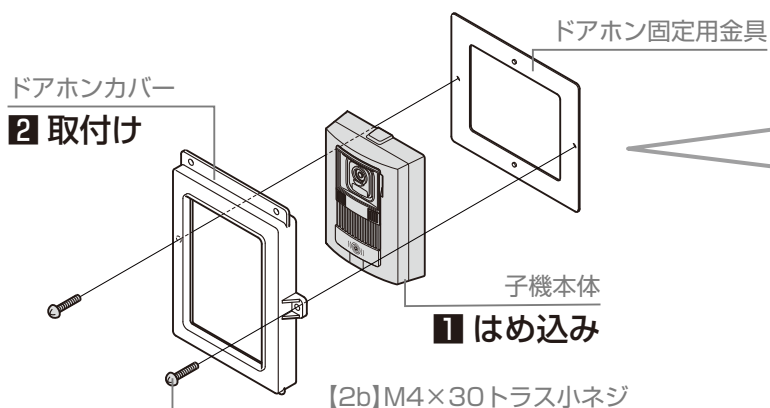
お願い

- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けについてはインターホン子機の取付説明書を参照してください。

インターホン内蔵仕様の場合

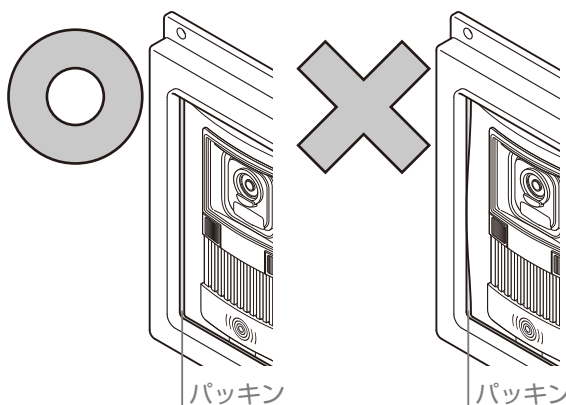
(1) ドアホンの組立て

- 1: 子機本体をドアホンカバーにはめ込み
- 2: ドアホンカバーをドアホン固定用金具に【2b】で取付け



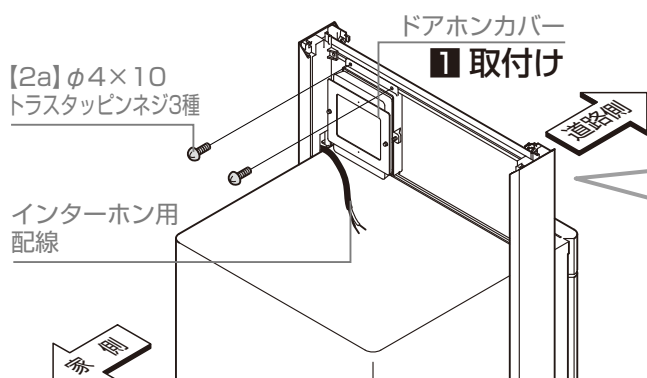
お願い

- パッキンの厚みが均等になるようにしてください。



(2) ドアホンの取付け

- 1: ドアホンカバーをフロントパネルに【2a】で取付け

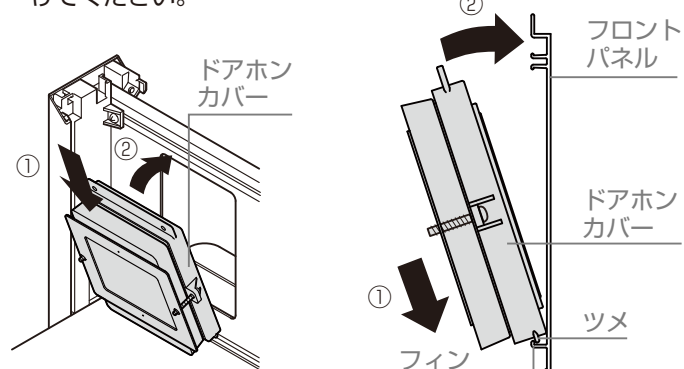


お願い

- 取付けの際に配線を接続してください。
- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けについてはインターホン子機の取付説明書を参照してください。

補足

- ドアホンカバー下のフィンをフロントパネルのツメに引っかけてください。



9 センターブロックの取付け（ファンクション仕様）

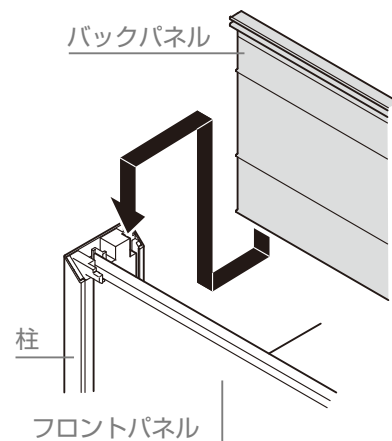
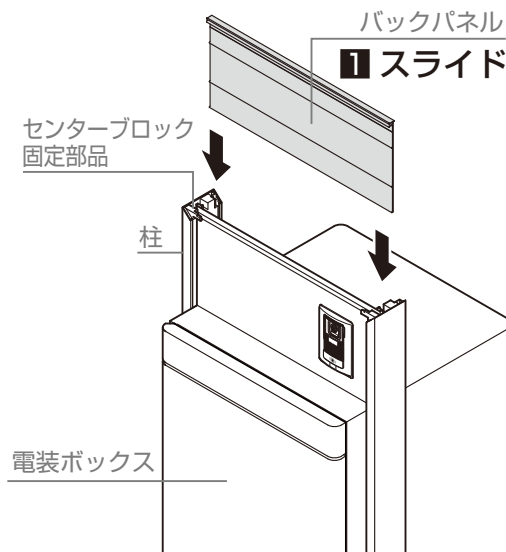
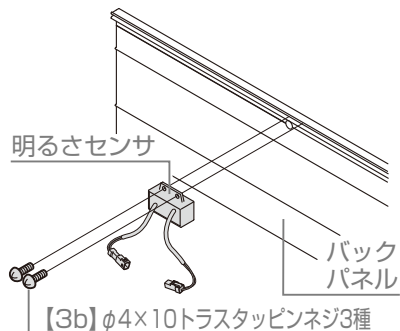
9-6 バックパネルの取付け

- ①:バックパネルをセンターブロック固定部品の溝にスライド

補足

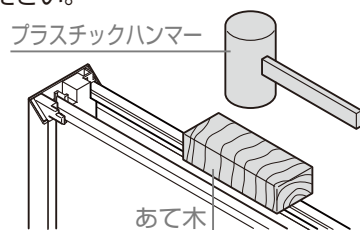
▼ 明るさセンサを使用する場合 ▼

- 先に、明るさセンサをバックパネルに【3b】で取付けてください。（【6-2】バックパネルの加工 参照）



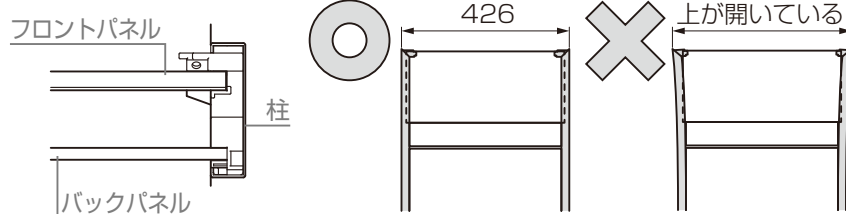
お願い

- バックパネル上部にあて木をあてがい、プラスチックハンマー等でめ込んでください。



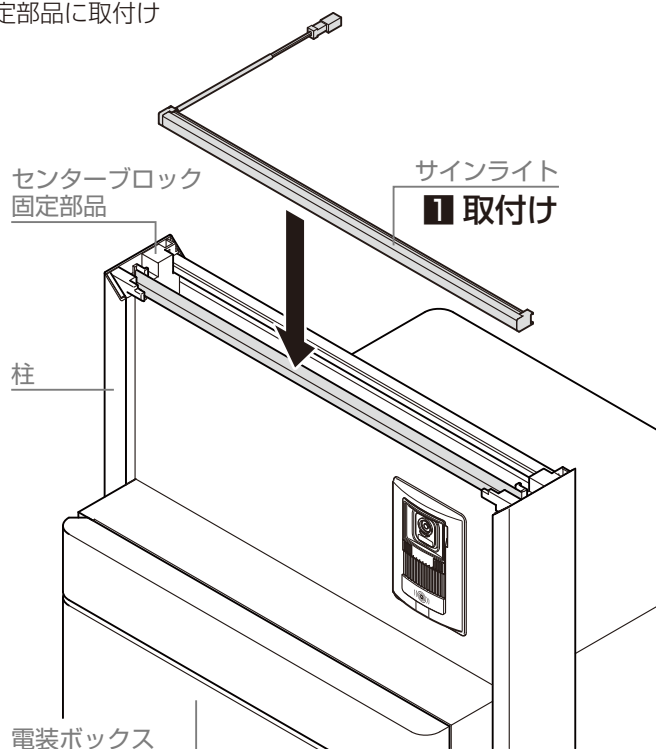
- 柱の上部が開いていないことを確認してください。

●上から見た図



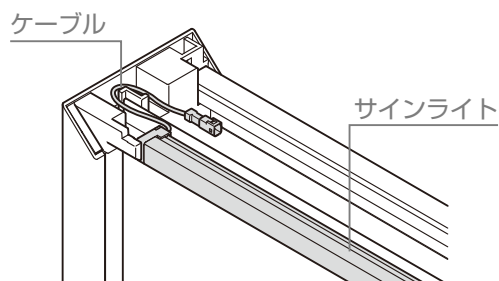
9-7 サインライトの取付け

- ①:サインライトをセンターブロック固定部品に取付け

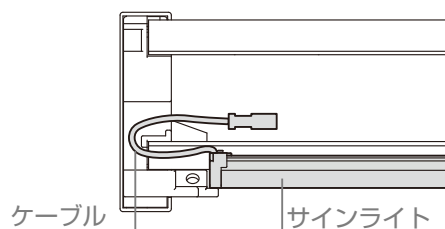


お願い

- 図のようにケーブルを取り回してください。



●上から見た図



9 センターブロックの取付け（ファンクション仕様）

9-8 照明配線の接続

お願い

●配線引き回しの際、無理に引っ張らないでください。断線、コネクタの抜けの原因となります。

ホームネットワークシステムと接続する場合

(1) サインライトの場合

- ①: サインライトのケーブル(メス)と延長ケーブル(オス)を接続

サインライトのケーブル(メス)

① 接続

延長ケーブル(オス)

サインライト

(2) 木目調サイン(バックライトあり)の場合

- ①: バックライトのケーブル(メス)と延長ケーブル(オス)を接続

延長ケーブル(オス)

① 接続

バックライトのケーブル(メス)

バックライト

木目調サイン

ホームネットワークシステムと接続しない場合 (明るさセンサを使用する場合)

(1) サインライトのみを使用する場合

- ①: サインライトのケーブル(メス)と明るさセンサのケーブル(オス)を接続
②: 明るさセンサのケーブル(メス)と延長ケーブル(オス)を接続

サインライトの
ケーブル(メス)

① 接続

明るさセンサの
ケーブル(オス)

明るさセンサ

明るさセンサの
ケーブル(メス)

② 接続

サインライト

延長ケーブル(オス)

(2) 木目調サイン(バックライトあり)のみを使用する場合

- ①: バックライトのケーブル(メス)と明るさセンサのケーブル(オス)を接続
②: 明るさセンサのケーブル(メス)と延長ケーブル(オス)を接続

明るさセンサの
ケーブル(オス)

① 接続

明るさセンサ

明るさセンサの
ケーブル(メス)

② 接続

延長ケーブル(オス)

バックライト

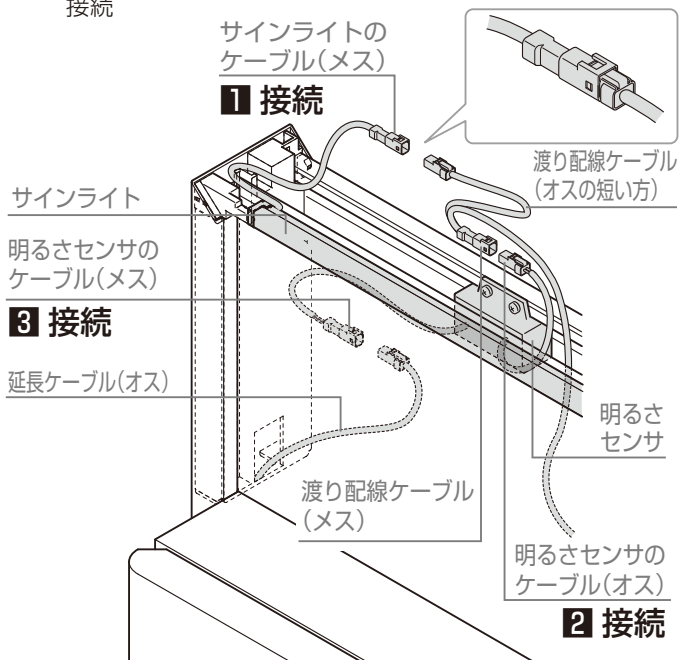
木目調サイン

9-8 照明配線の接続

ホームネットワークシステムと接続しない場合 （明るさセンサを使用する場合）

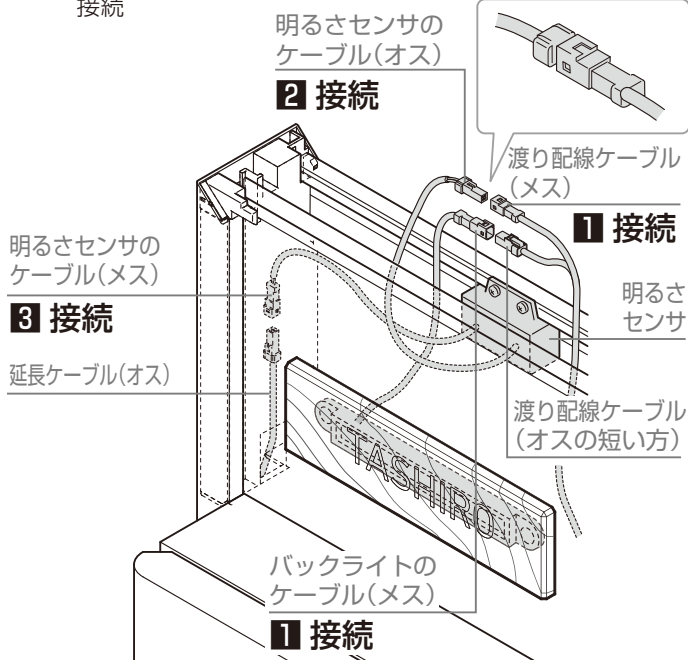
（3）サインライトとフットライトを使用する場合

- ❶: サインライトのケーブル（メス）と渡り配線ケーブル（オスの短い方）を接続
- ❷: 明るさセンサのケーブル（オス）と渡り配線ケーブル（メス）を接続
- ❸: 明るさセンサのケーブル（メス）と延長ケーブル（オス）を接続



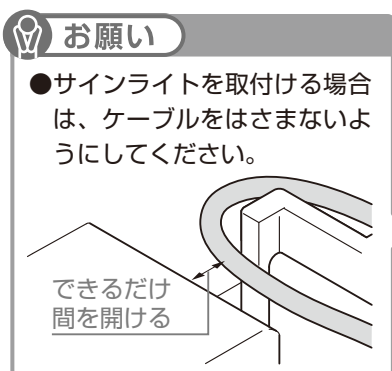
（4）木目調サイン(バックライトあり)とフットライトを使用する場合

- ❶: バックライトのケーブル（メス）と渡り配線ケーブル（オスの短い方）を接続
- ❷: 明るさセンサのケーブル（オス）と渡り配線ケーブル（メス）を接続
- ❸: 明るさセンサのケーブル（メス）と延長ケーブル（オス）を接続



9-9 上栈の再取付け

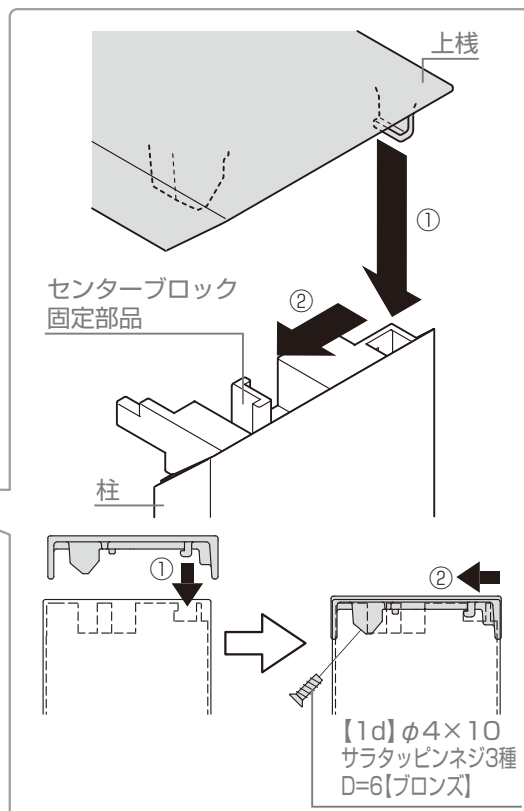
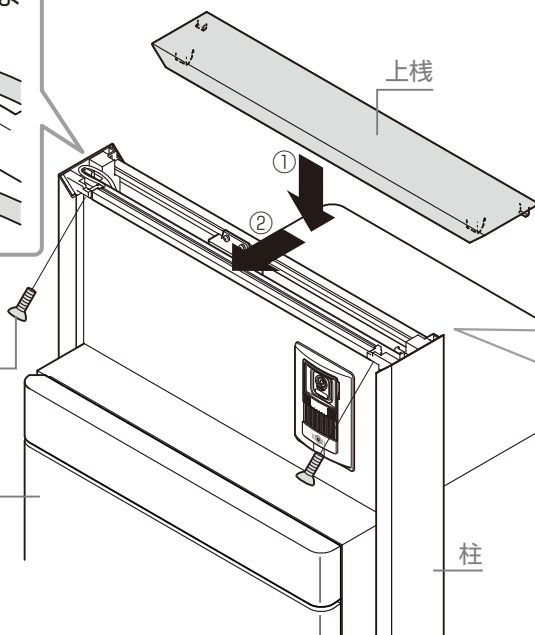
- ❶: 上栈をセンターブロック固定部品に【1d】で再取付け



【1d】φ4×10
サラタッピンネジ3種 D=6【ブロンズ】

❶ 再取付け

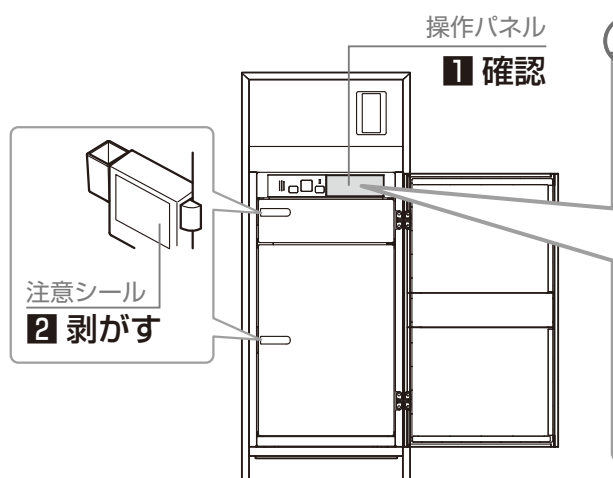
電装ボックス



10 動作の確認

10-1 通電の確認 ※図はスマート宅配ポストTAです。スマート宅配ポストTBも同様です。

- 1: 屋内「入切スイッチ」を「入」にして、電装ボックスに電源が入ったことを確認
- 2: 内扉の錠のシールを剥がす



補 足

- 初期表示状態の操作パネルは、以下の表示が点灯します。



- 「開始」「扉」「施錠」が点灯

10-2 照明の点灯、消灯確認 ▼ ファンクション仕様の場合の作業です。 ▼

- ホームネットワークシステムに接続しない場合
(明るさセンサを使用する場合)



【A】 を参照してください。

- ホームネットワークシステムに接続を予定している場合

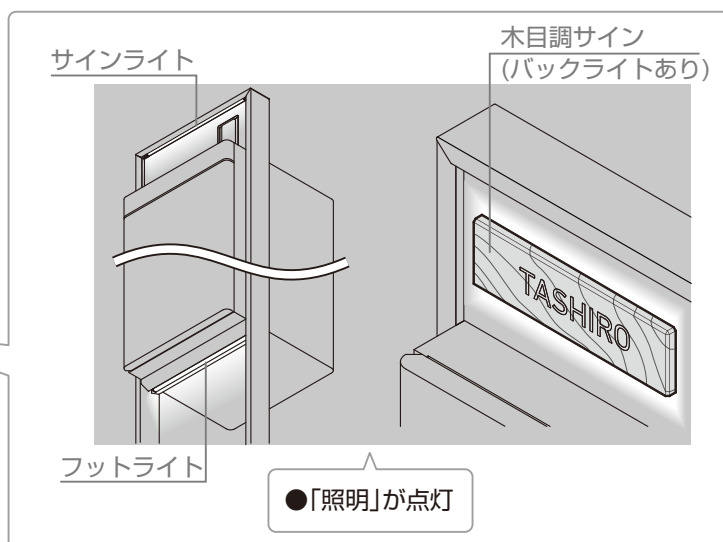
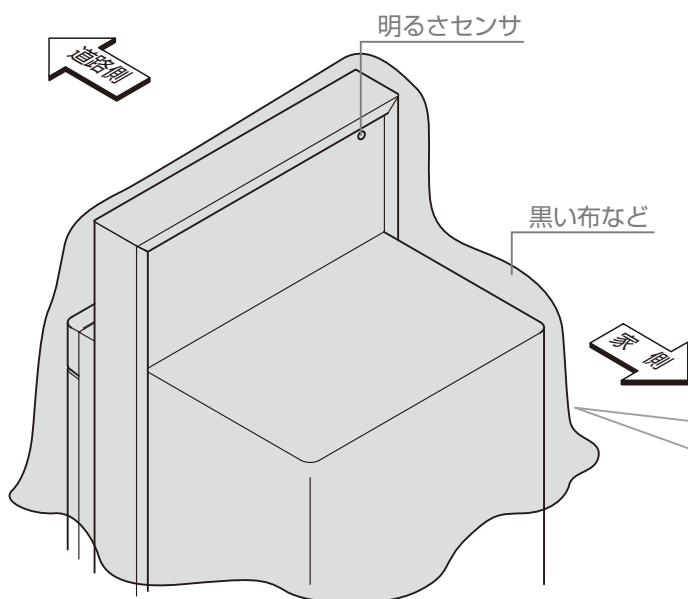


【B】 を参照してください。

▼ 【A】 ホームネットワークシステムと接続しない場合 (明るさセンサを使用する場合) ▼

💡 お願い

- 環境内の光の量で点灯・消灯しますので、日中は黒い布などで環境光を遮断して照明の点灯確認をしてください。



10-2 照明の点灯、消灯確認

【B】 ホームネットワークシステムと接続する場合 (明るさセンサー仕様の場合、設定の必要はありません)

お願い

●ホームネットワークシステムに接続するまでの間は、常時点灯となりますので以下の操作で照明を消灯させてください。

初期表示

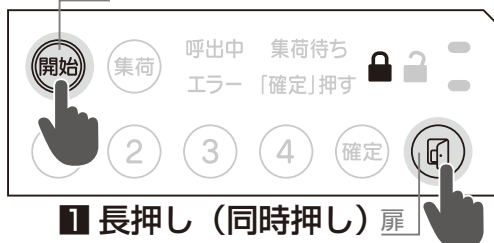


●「開始」「扉」「施錠」が点灯

1: 「開始」「扉」を同時に5秒長押し

入力

開始 1 長押し (同時押し)



1 長押し (同時押し) 扉

設定モード



●「1」「2」「3」「4」が点灯
●「施錠」が消灯

2: 「開始」「扉」を押したまま「3」を2回押す

入力

開始 2 押したまま



2 2回押す 3

2 押したまま 扉

設定完了表示

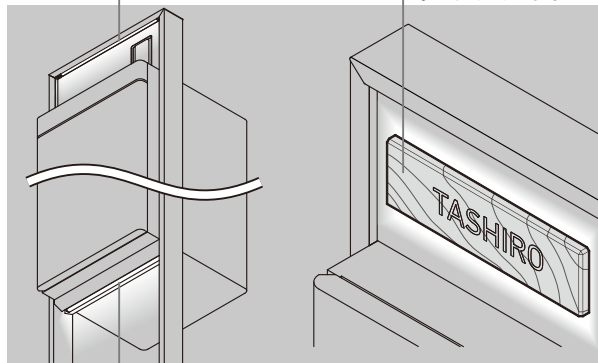


●「3」「4」が点灯
●「1」「2」が点滅
●初期表示に戻る

●照明の点灯

サインライト

木目調サイン
(バックライトあり)

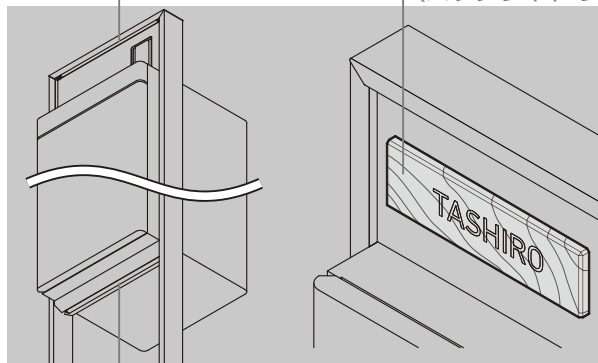


フットライト

●照明の消灯

サインライト

木目調サイン
(バックライトあり)

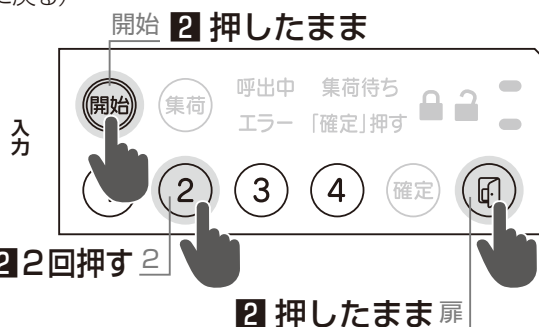


フットライト

補 足

●照明の点灯方法

- 1: 「開始」「扉」を同時に5秒長押し
(設定モード: 「1」「2」「3」「4」が点灯⇒施錠が消灯)
- 2: 「開始」「扉」を押したまま「2」を2回押す
(設定完了表示: 「3」「4」が消灯・「1」「2」が点滅⇒初期表示に戻る)



2 2回押す 2

2 押したまま 扉

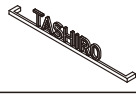
梱包明細表

【1】 フレームセット			
名 称	略 図	員 数	
		ファンクション用	ポール建て用
柱 ファンクション仕様		2	—
柱 ポール建て仕様		—	2
中棧		1	1
下棧		1	1
上棧		1	1
センターブロック 固定部品R		1	—
センターブロック 固定部品L		1	—
上棧固定部品R		—	1
上棧固定部品L		—	1
横棧取付金具		4	4
配線穴ふさぎシール		1	1
配線用針金 (L=約3m)		1	1
【1a】 M5×35 トラス小ネジ G=5		4	4
【1b】 φ4×10 トラスタッピンネジ3種		16	16
【1c】 φ4×8 サラタッピンネジ2種 D=6		2	2
【1d】 φ4×10 サラタッピンネジ3種 D=6 【ブロンズ】		2	2
取付説明書〈A616〉	—	1	1
取扱説明書〈UA228〉	—	1	1

【2】 センターブロック				
名 称	略 図	員 数		
		加工なし	インターホン内蔵(右)	インターホン内蔵(左)
フロントパネル 加工無し		1	—	—
フロントパネル インターホン内蔵用(右)		—	1	—
フロントパネル インターホン内蔵用(左)		—	—	1
バックパネル		1	1	1
ファンクションパネル 見込部材		2	2	2
ドアホンカバー		—	1	1
ドアホン固定金具		—	1	1
【2a】 φ4×10 トラスタッピンネジ3種		4	4	4
【2b】 M4×30 トラス小ネジ		—	2	2

【3】 LED照明				
名 称	略 図	員 数		
		サインライト		フットライト
		センサーあり	センサーなし	
サインライト		1	1	—
延長ケーブル (1m)		1	1	—
フットライト		—	—	1
足元灯取付部品		—	—	2
明るさセンサ		1	—	—
【3a】 φ4×12 サラタッピンネジ3種 D=6		—	—	2
【3b】 φ4×10 トラスタッピンネジ3種		2	—	—

梱包明細表

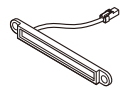
【4】切り文字サイン				
名 称	略 図	員 数		
		大	中	小
切り文字サイン(大)		1	—	—
切り文字サイン(中)		—	1	—
切り文字サイン(小)		—	—	1
【4a】M3×10ナベ小ネジ		3	2	2

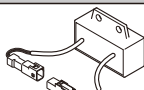
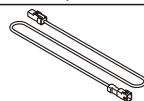
【5】抜き文字プレートサイン		
名 称	略 図	員 数
抜き文字プレートサイン		1
【5a】M4×10ナベ小ネジ		2

【6】ガラスサイン			
名 称	略 図	員 数	
		ガラスサイン	ガラスサイン (特注)
ガラスサイン		1	1
【6a】化粧ネジM4用		2	2
【6b】M4×20ナベ小ネジ(PW)		2	2
【6c】SUSスペーサー		2	2
【6d】M4ゴムワッシャー		4	4
ネームシール		2(※)	—

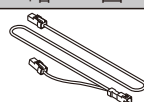
※黒文字と白文字の2種類を同梱しています

【7】木目調サイン		
名 称	略 図	員 数
木目調サイン		1
【7a】M4×8ナベ小ネジ		2
【7b】M4平座金		2

【8】バックライト (木目調サイン用)		
名 称	略 図	員 数
バックライト		1
【8a】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		2

【9】明るさセンサーセット (木目調サイン用、ホームユニットなしの場合)		
名 称	略 図	員 数
明るさセンサー		1
延長ケーブル(1m)		1
【9a】φ4×10トラス タッピンネジ3種 D=8		2

【10】アクリルバーサイン		
名 称	略 図	員 数
アクリルバーサイン		1
【10a】M4×10トラス小ネジ		2

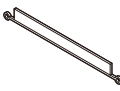
【11】渡り配線ケーブル		
名 称	略 図	員 数
渡り配線ケーブル		1

【12】切り文字サインA～D					
名 称	略 図	員 数			
		A	B	C	D
切り文字サインA		1	—	—	—
切り文字サインB		—	1	—	—
切り文字サインC		—	—	1	—
切り文字サインD		—	—	—	1
【12a】M3六角ナット		2	—	—	—
【12b】M4六角ナット		—	2	2	2

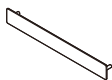
梱包明細表

【13】 ガラスサイン オプション			
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
ガラスサイン		1	1
ネームシール		2(※)	—
【13a】 化粧ネジM4用		4	4
【13b】 M4×20ナベネジ(SW+PW)		4	4
【13c】 ゴムスペーサー L=6		4	4
【13d】 M4ゴムワッシャー		4	4

※黒文字と白文字の2種類を同梱しています

【14】 SUS切り文字バーサイン オプション			
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
SUS切り文字サイン		1	—
【14a】 化粧ネジ		2	—
【14b】 φ4×16ナベネジ D=7(SW+PW)		2	—
【14c】 φ4×20ナベネジ D=7(SW+PW)		2(※)	—
【14d】 SUSスペーサー		2	—
【14e】 シリコンワッシャー		2	—
【14f】 M4平座金		4	—

※【14c】は使用しません。

【15】 SUS抜き文字バーサイン オプション			
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
SUS抜き文字サイン		1	—
【15a】 M4ナット		2	—
【15b】 M5ナット		2	—
【15c】 シリコンワッシャー		2	—

【16】 ステンレスサイン オプション			
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
ステンレスサイン		1	1
ネームシール		1(※)	—
【16a】 M4六角ナット		4	4

※黒文字のみです。

【17】 スマート宅配ポストセット					
名 称	略 図	員 数			
		TA		TB	
		右開き	左開き	右開き	左開き
スマート宅配ポスト TA 電装ボックス		1	—	—	—
スマート宅配ポスト TB 電装ボックス		—	1	—	—
郵便シール		2	2	—	—
宅配シール		2	2	1	1
操作説明シール		1	1	1	1
機器番号シート		1	1	1	1
取扱説明書〈UA229〉	—	1	1	1	1

※郵便シールは投函扉正面、宅配シールは外扉正面の任意の位置に貼ってください。

取説コード

A616

JZZ634980D
201808A_1049
202105E_1049